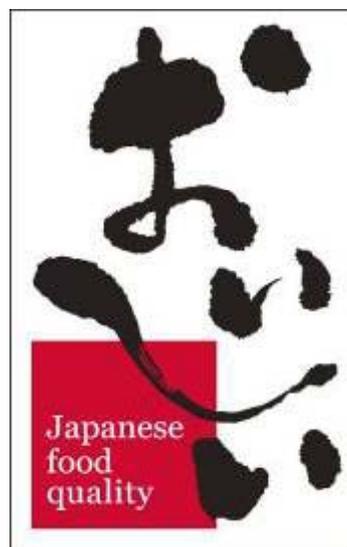


# 平成23年農林水産物・食品輸出実績

(品目別)

食料産業局輸出促進グループ



平成24年5月

農林水産省



# 目次

品目別内訳	.....2		
加工食品の内訳	.....3	野菜・果実等の内訳	.....16
醤油	.....4	りんご	.....17
みそ	.....5	うんしゅうみかん	.....18
アルコール飲料	.....6	なし	.....19
清涼飲料水	.....7	ながいも等	.....20
菓子(米菓を除く)	.....8	いちご	.....21
米菓	.....9	その他農産物の内訳	.....22
畜産物の内訳	.....10	植木等	.....23
粉乳	.....11	緑茶	.....24
牛肉	.....12	林産物の内訳	.....25
牛乳	.....13	製材加工材	.....26
穀物等の内訳	.....14	丸太	.....27
米(援助用除く)	.....15		
		水産物(水産調製品以外)の内訳	.....28
		真珠(天然・養殖)	.....29
		ホタテ貝	.....30
		さば	.....31
		いか	.....32
		ぶり	.....33
		さけ・ます	.....34
		かつお類	.....35
		すけとうだら	.....36
		錦鯉等観賞用魚	.....37
		水産調製品の内訳	.....38
		乾燥なまこ	.....39
		貝柱調製品	.....40
		あわび(調整)	.....41

## 【利用上の注意】

- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



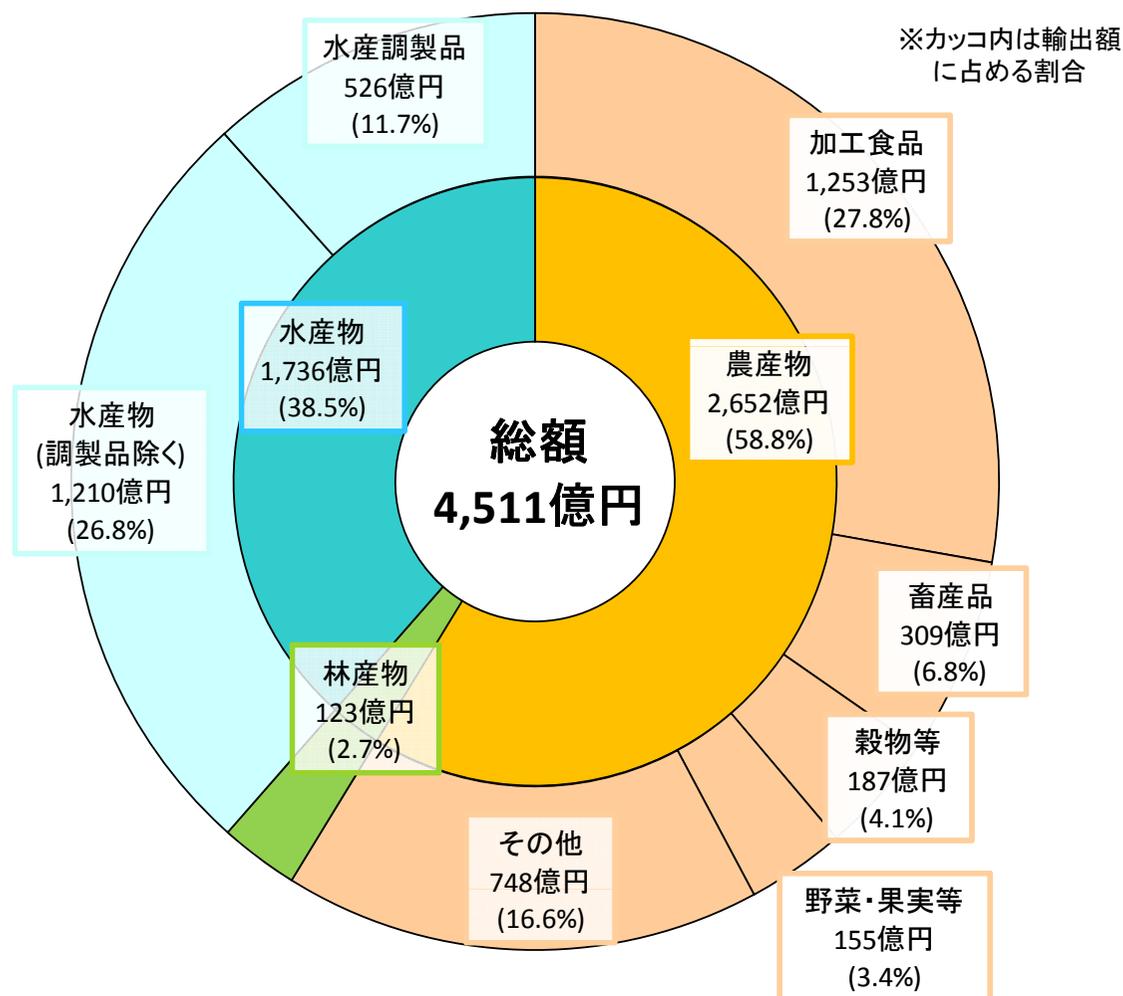
# 農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

MAFF

●農林水産物・食品の輸出額を品目別で見ると、水産物が約4割、加工食品が約3割を占める。

(平成23年)

(単位:億円)



	平成22年	平成23年	増減率
農林水産物	4,920	4,511	▲8.3%
農産物	2,865	2,652	▲7.4%
加工食品	1,325	1,253	▲5.4%
畜産品	395	309	▲21.9%
穀物等	210	187	▲10.9%
野菜・果実等	173	155	▲10.8%
その他農産物	761	748	▲1.6%
林産物	106	123	▲16.3%
水産物	1,950	1,736	▲11.0%
水産物 (調製品除く)	1,368	1,210	▲11.5%
水産調製品	582	526	▲9.6%
総輸出額	673,996	655,465	▲2.7%
乗用車	78,980	69,403	▲12.1%

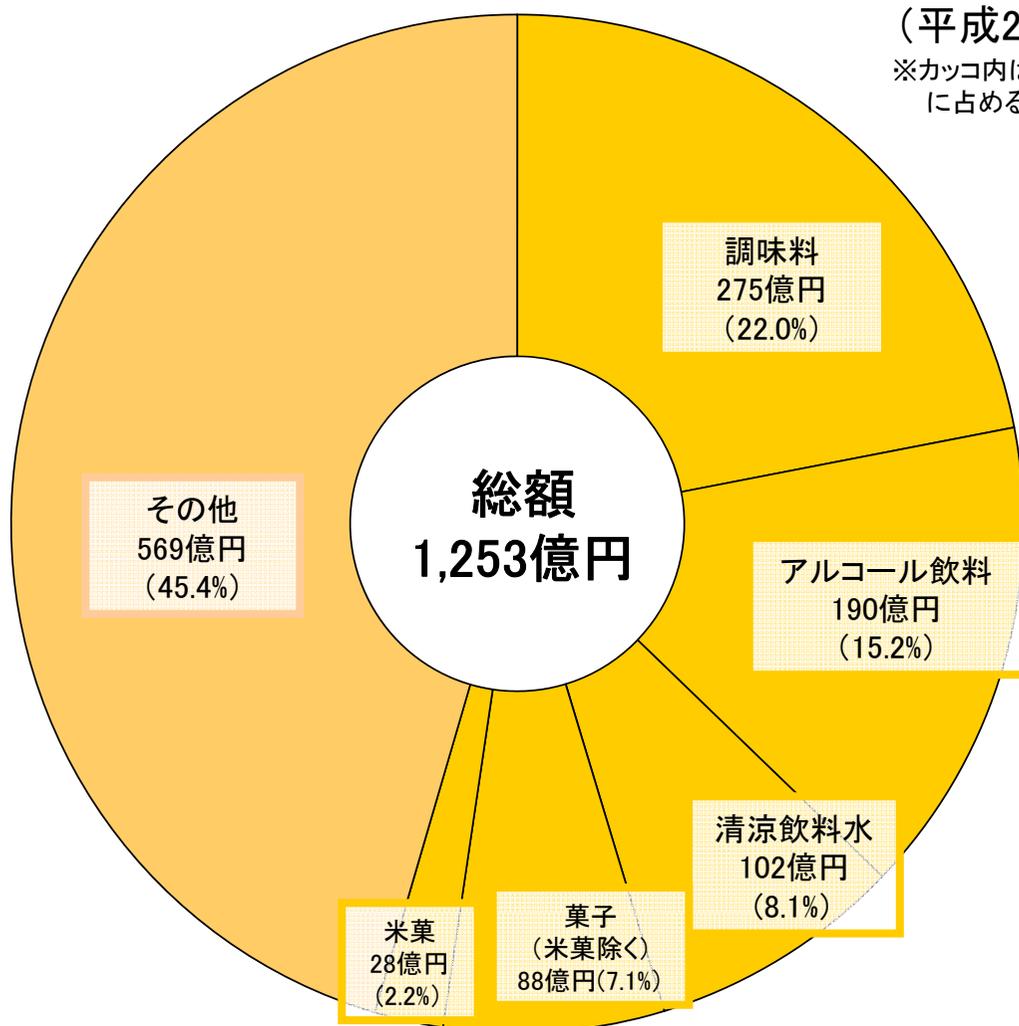


# 加工食品の品目別内訳

MAFF

●加工食品の品目別内訳をみると、調味料、アルコール飲料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。

(単位:億円)



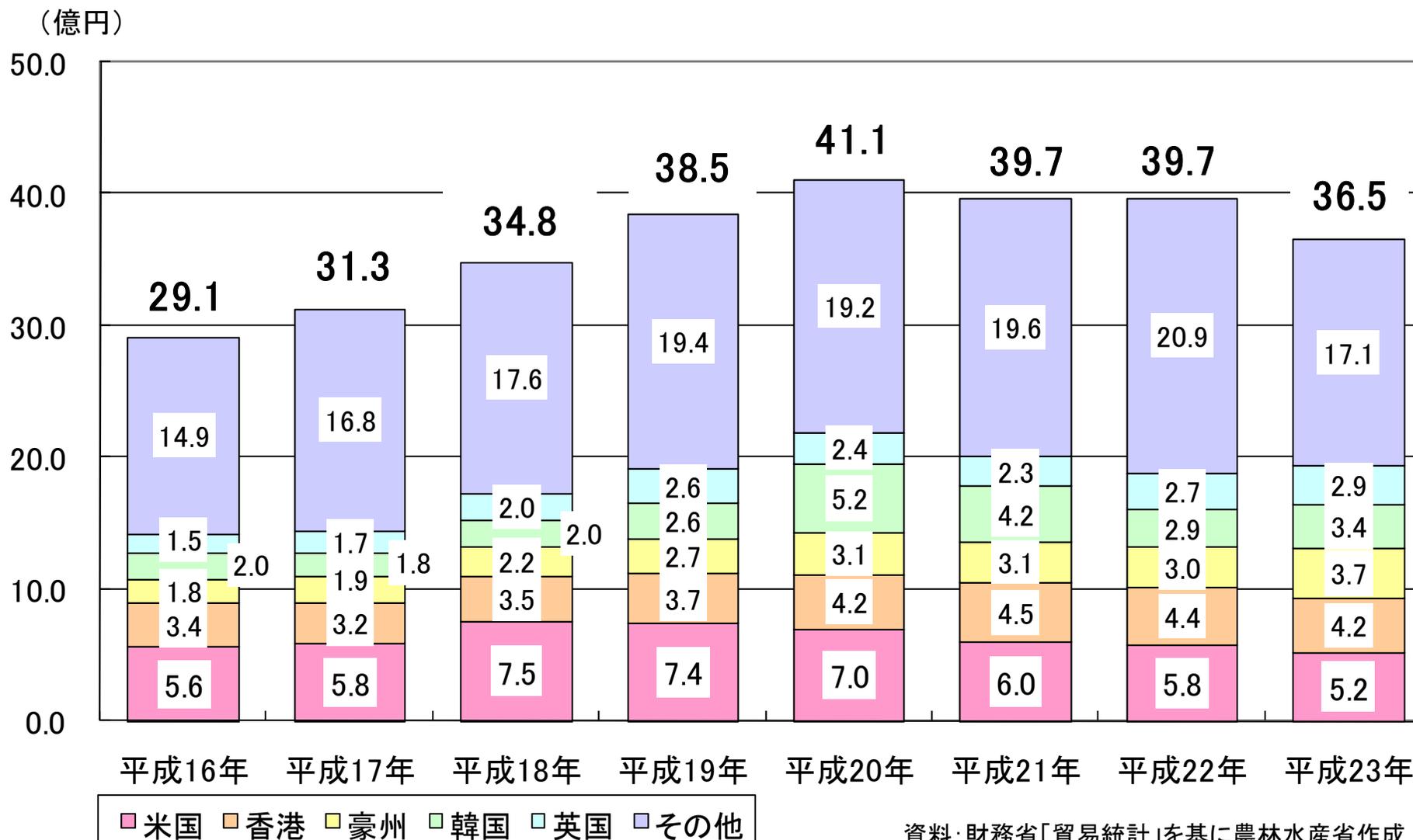
品目名	平成22年	平成23年	増減率
調味料	290.8	275.3	▲5.3%
ソース混合調味料	212.1	201.0	▲5.3%
醤油	39.7	36.5	▲8.0%
みそ	21.0	21.3	1.5%
アルコール飲料	178.6	190.3	6.6%
清酒	85.0	87.8	3.2%
ビール	31.8	38.0	19.4%
焼酎	15.3	13.5	▲11.6%
ぶどう酒	3.4	2.3	▲30.7%
清涼飲料水	119.1	101.9	▲14.4%
菓子(米菓除く)	101.0	88.4	▲12.5%
チョコレート菓子	46.7	44.0	▲5.8%
キャンデー類	35.0	29.3	▲16.5%
ビスケット	10.7	8.0	▲24.9%
チューインガム	8.6	7.1	▲17.1%
スープ プロス	47.9	48.9	2.1%
米菓	32.0	27.6	▲13.9%
ペプトン等	22.0	23.1	4.7%
デキストリン等	18.5	18.2	▲1.8%
酵母	17.3	14.9	▲13.7%
油脂・混合物調製品	10.9	13.0	18.9%
ベーカリー製品製造用混合物	12.6	9.2	▲27.0%
レシチン等	10.2	7.7	▲24.0%
アイスクリーム等氷菓	6.9	5.6	▲18.5%
コーンスターチ	1.6	1.0	▲41.0%
その他	455.6	427.8	▲6.1%
加工食品計	1,325.1	1,252.9	▲5.4%

※ ソース混合調味料…ソース、たれ、カレー調製品等。  
 ペプトン…牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもので、食品添加物、培地等に使用。  
 デキストリン…タピオカ等のでん粉を分解したもので、健康食品の原料等に使用。  
 酵母…ビール酵母等で、健康食品や飼料の原料に使用。  
 油脂・混合物調製品…マーガリン等。  
 ベーカリー製品製造用混合物…冷凍ピザ、たこ焼き、お好み焼き等。  
 レシチン…卵黄や大豆由来の脂質で、食品添加物、健康食品の原料等に使用。



# 醤油の輸出額・輸出先国の推移

- 醤油の輸出額は、増加傾向。
- 調味料の1つとして、多くの国・地域に向けて醤油が輸出されている。

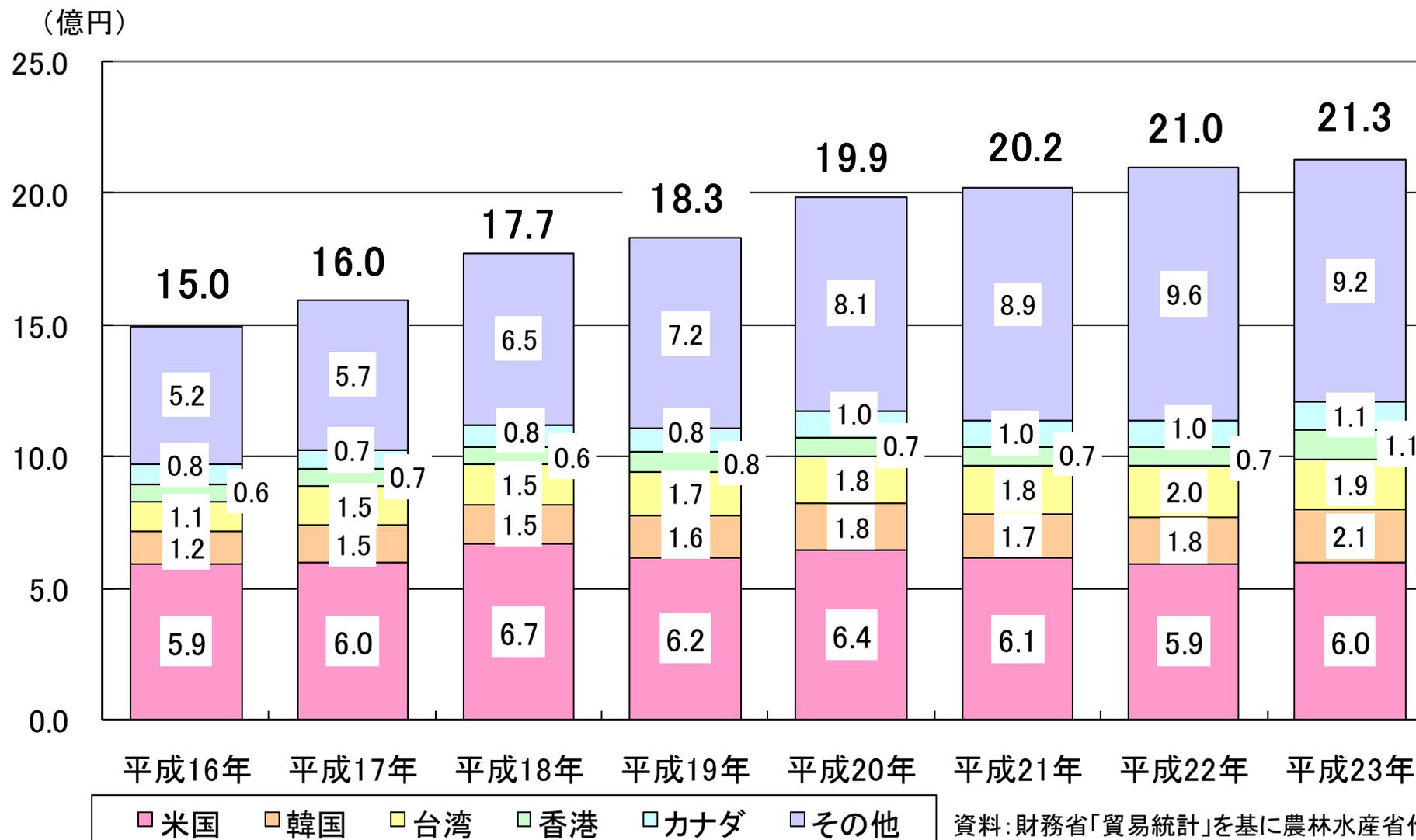


資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



# みその輸出額・輸出先国の推移

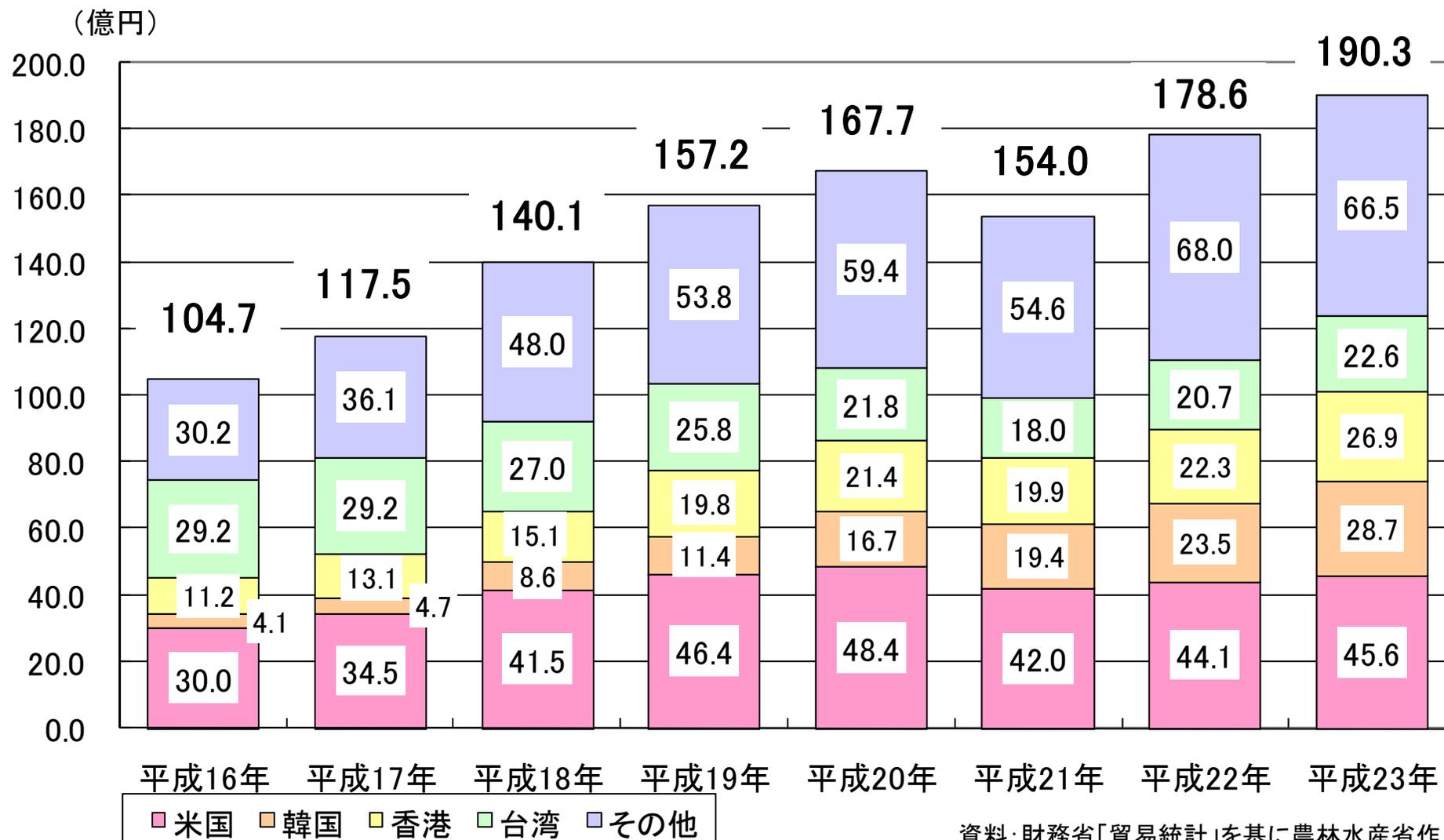
- みその輸出額は、順調に増加。
- 日本食レストランの普及に伴い、多くの国・地域に向けてみそが輸出されている。





# アルコール飲料の輸出額・輸出先国の推移

- アルコール飲料の輸出額は、増加傾向。
- 内訳をみると、清酒(88億円)が最も多く、次いでビール(38億円)、焼酎(14億円)。

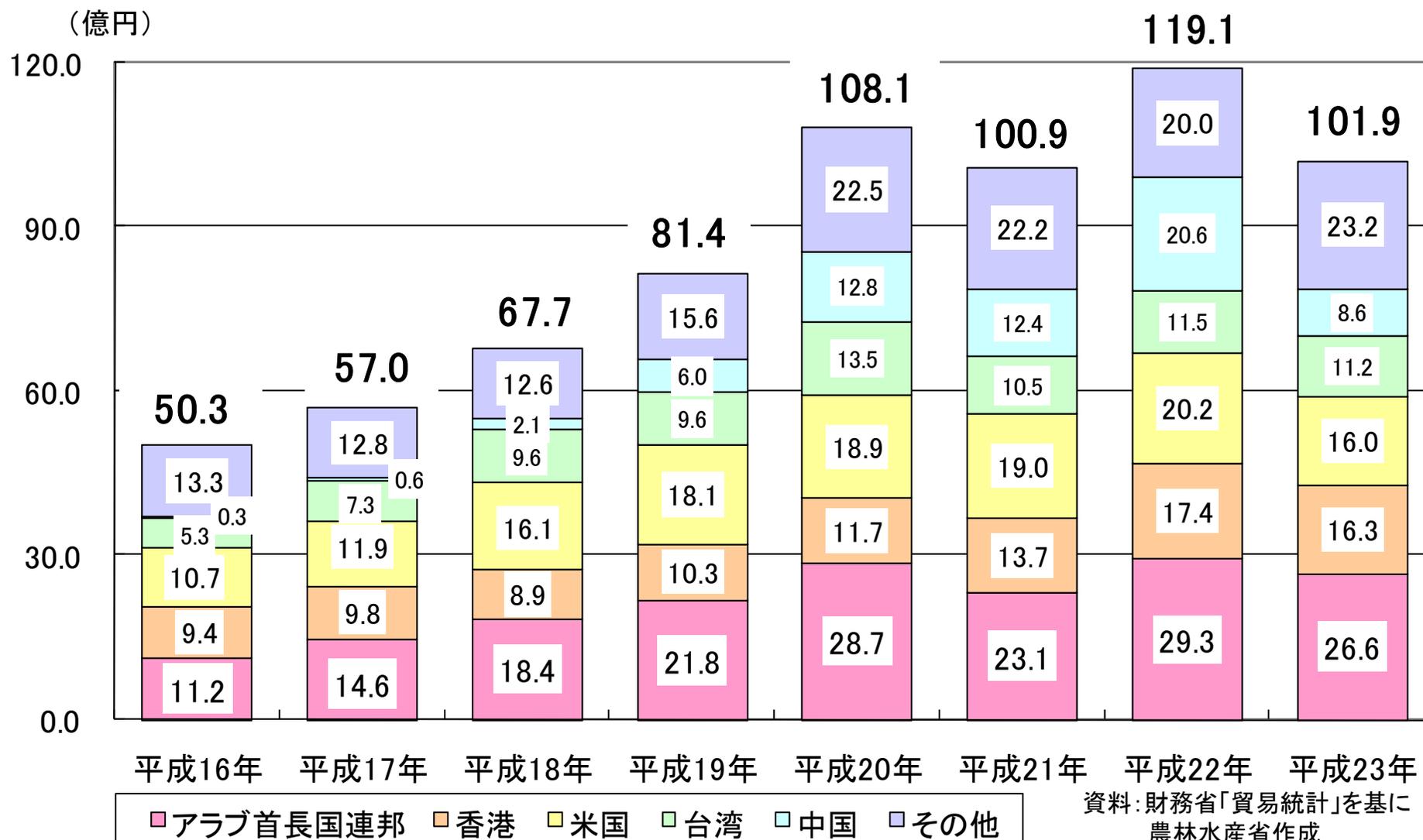




# 清涼飲料水の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

● 清涼飲料水の輸出額は、増加傾向。

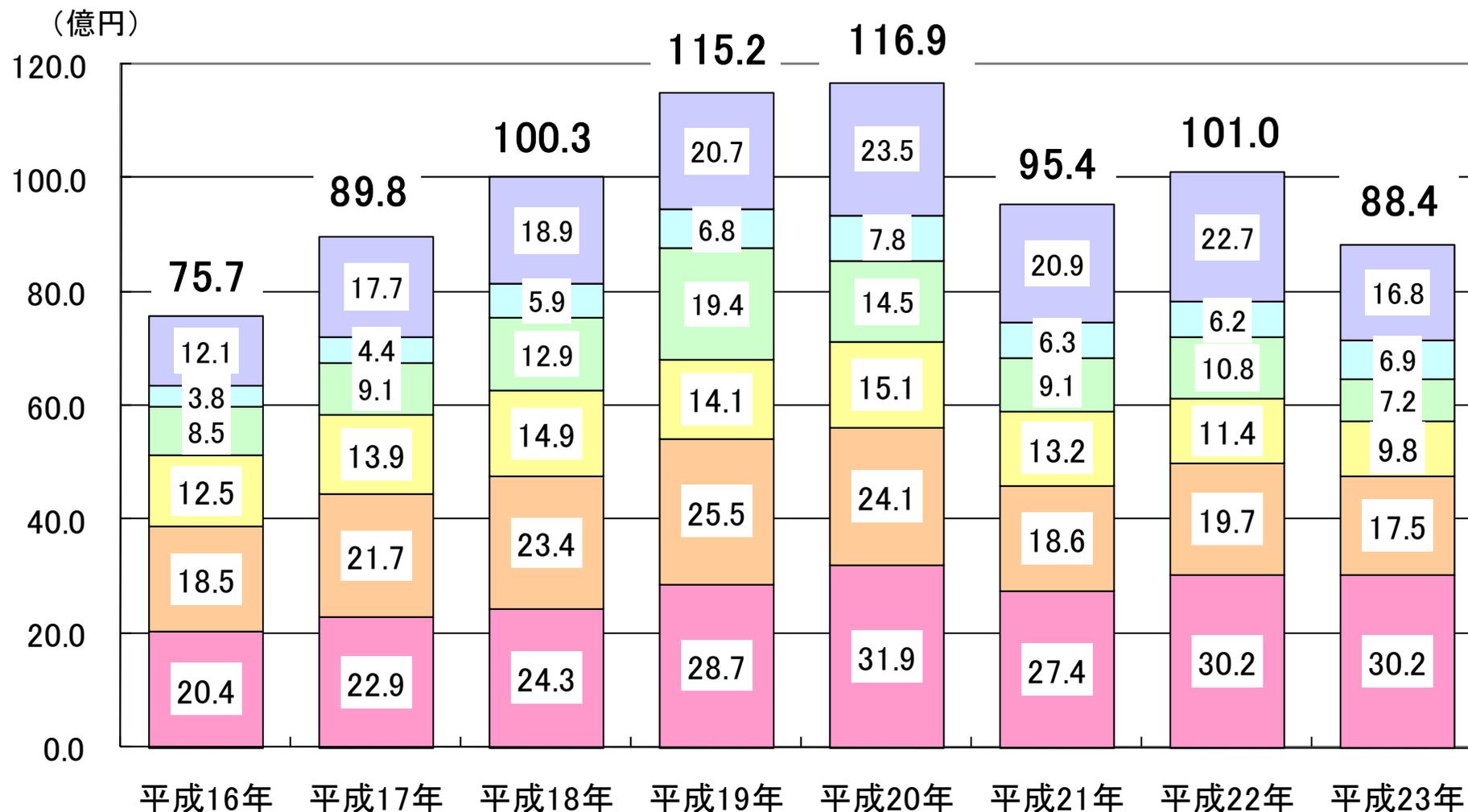




# 菓子(米菓除く)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

● 日本産菓子は、高品質で安全・安心なものであると認識されており、香港、台湾向けの輸出額が多い。



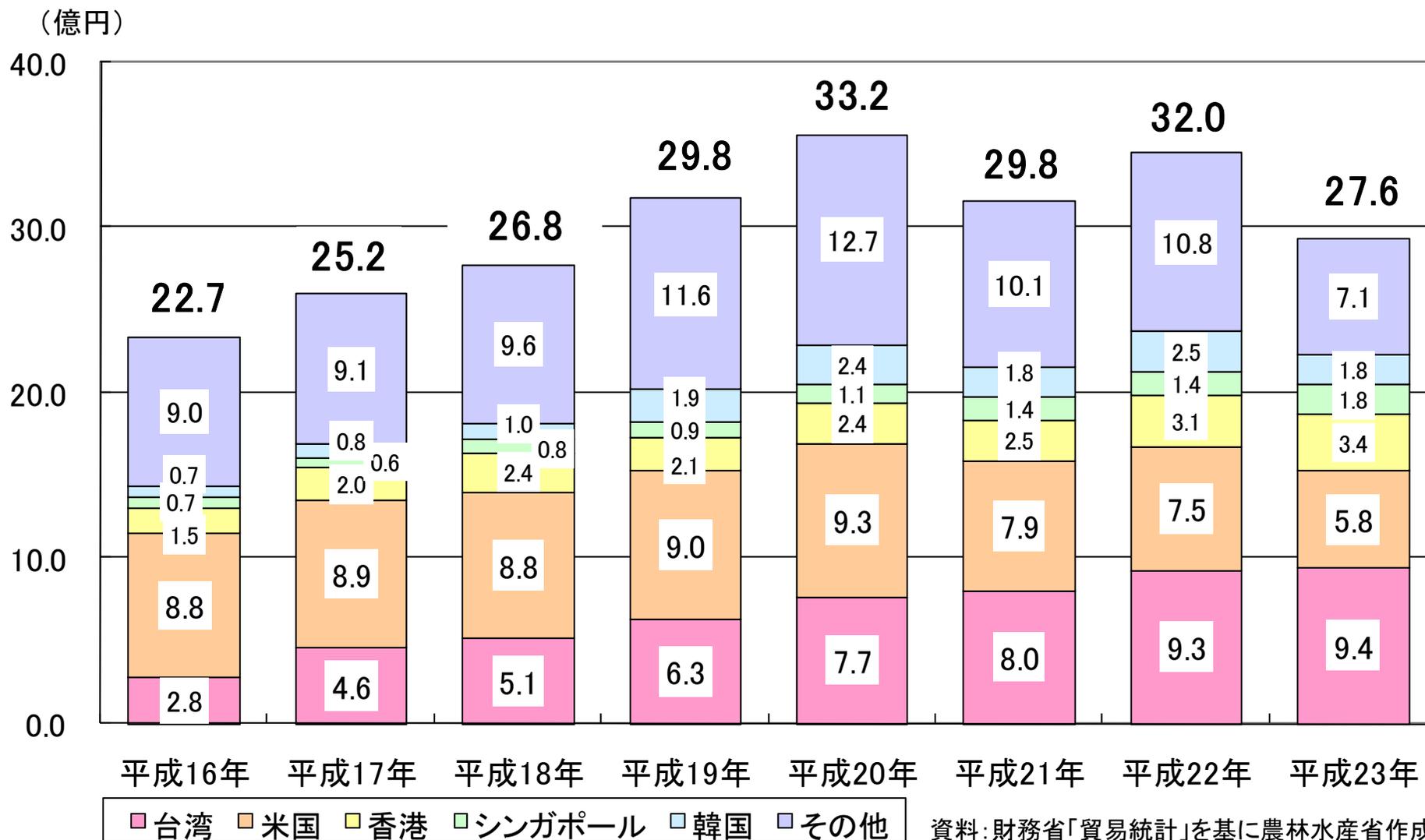
■ 香港 ■ 台湾 ■ 米国 ■ 韓国 ■ シンガポール ■ その他

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



# 米菓の輸出額・輸出先国の推移

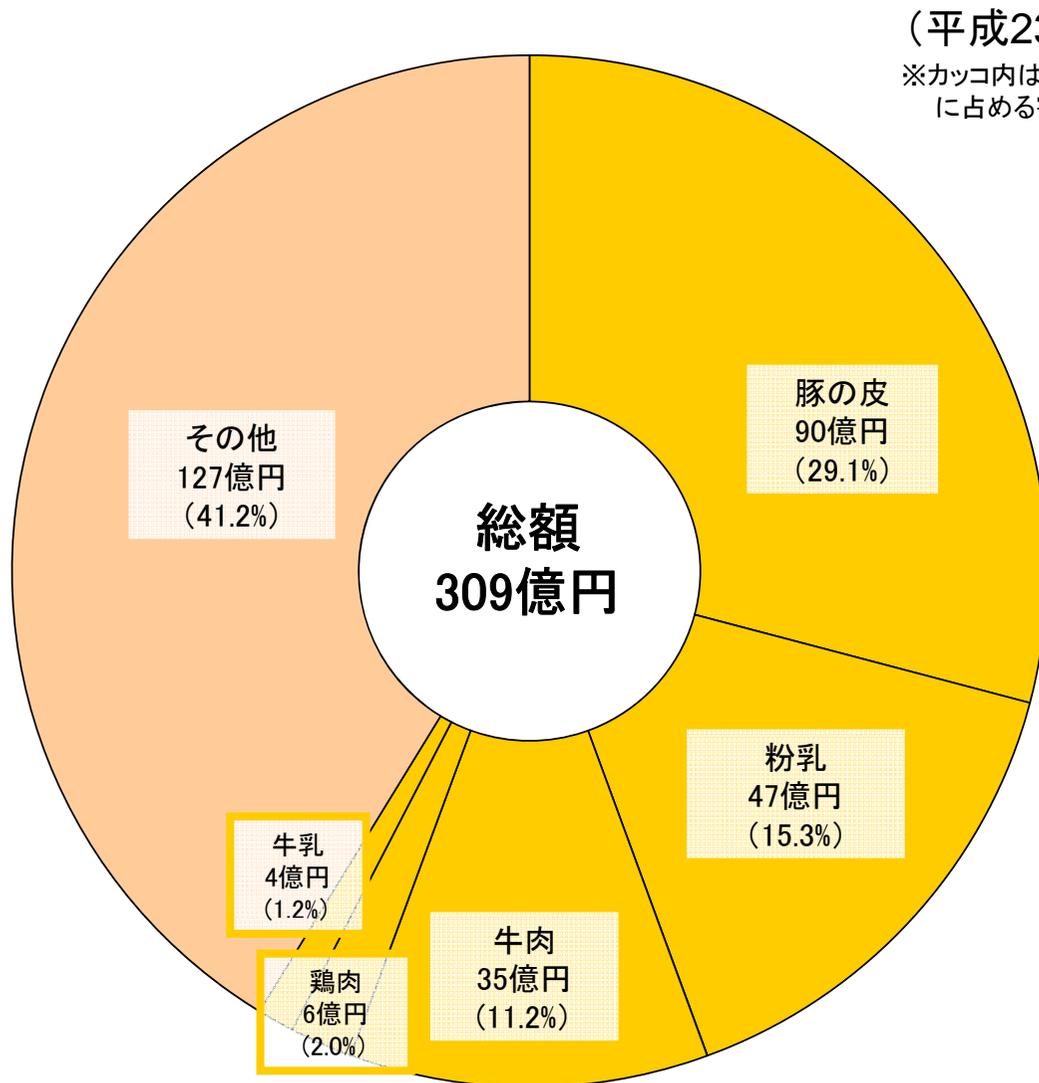
- 米菓の輸出額は、増加傾向。
- 特に、台湾や香港向けの輸出額が堅調に増加。





# 畜産品の品目別内訳

●畜産品の品目別内訳をみると、豚の皮、粉乳、牛肉などの割合が多い。



(単位: 億円)

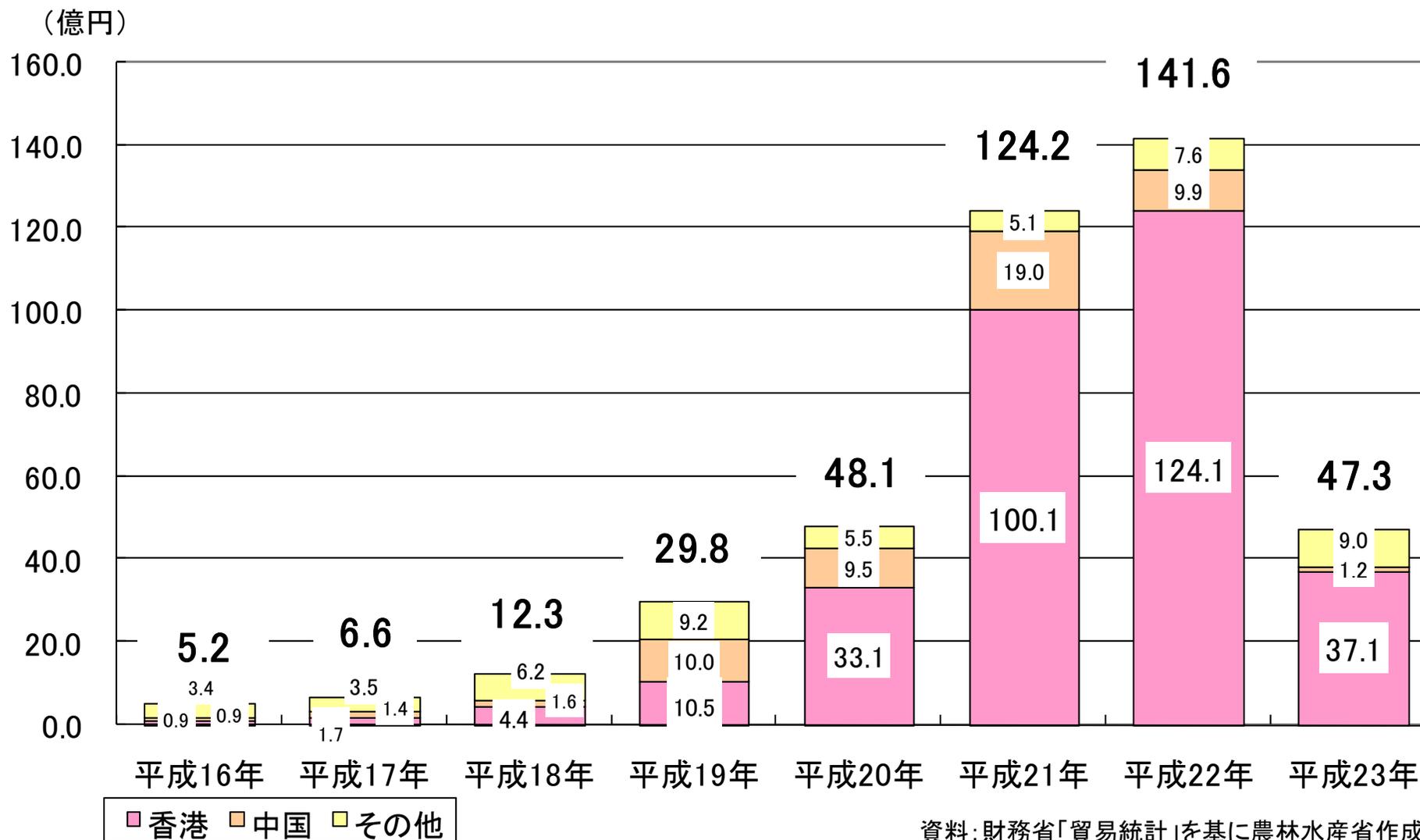
品目名	平成22年	平成23年	増減率
豚の皮	60.0	89.8	49.7%
粉乳	141.6	47.3	▲66.6%
牛肉	34.0	34.6	1.9%
牛・馬の皮	21.3	22.2	4.3%
ゼラチン	18.8	15.3	▲18.8%
ラノリン	15.7	14.8	▲6.1%
鶏肉	13.9	6.1	▲56.2%
牛乳	5.7	3.6	▲37.2%
チーズ	3.0	2.9	▲5.7%
豚肉	1.9	1.9	▲2.9%
羊毛	1.7	1.5	▲8.8%
鶏卵	3.0	1.2	▲61.9%
その他	74.6	67.7	▲9.4%
<b>畜産品計</b>	<b>395.4</b>	<b>308.7</b>	<b>▲21.9%</b>

※ ゼラチン…牛や豚の皮や骨から抽出されるたんぱく質で、ゼリー等に使用。  
ラノリン…羊毛製品の副産物として生産される油脂で、化粧品等に使用。



# 粉乳の輸出額・輸出先国の推移

● 中国におけるメラミン混入事案(平成20(2008)年)を背景として、香港における日本産粉乳に対する需要により輸出額が増加したが、東京電力福島第一原子力発電所事故等の影響により、輸出額は大きく減少。

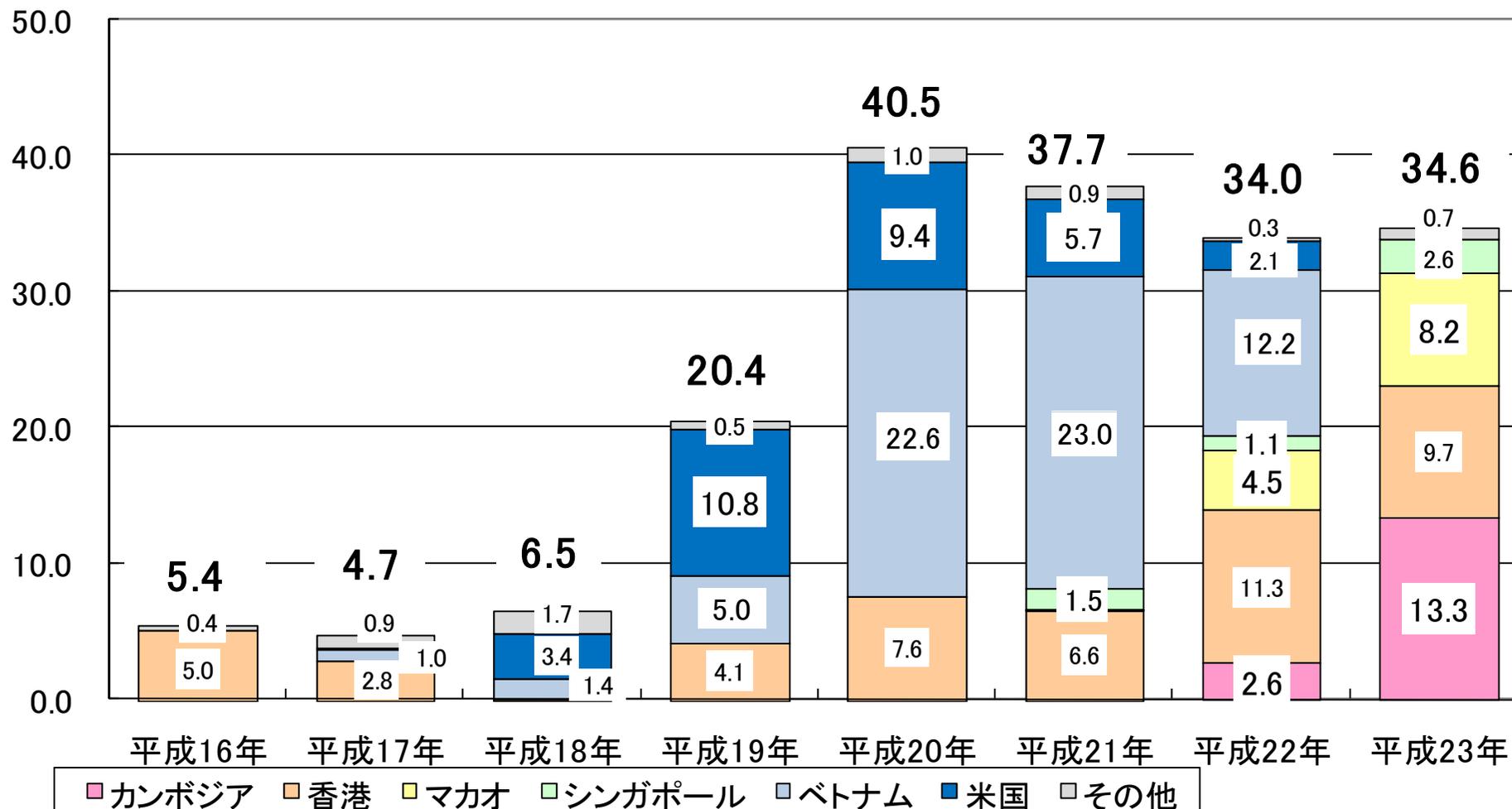




# 牛肉の輸出額・輸出先国の推移

- 我が国におけるBSEの発生以降、多くの国で輸入が禁止されたが、政府間の検疫協議の結果、米国（平成17年12月）、香港（平成19年4月）、シンガポール（平成21年5月）等への輸出が解禁され、輸出額が増加。
- 平成22年4月に口蹄疫が発生し、香港、マカオ等の一部国・地域を除く輸出停止の影響で輸出額は減少。

(億円)



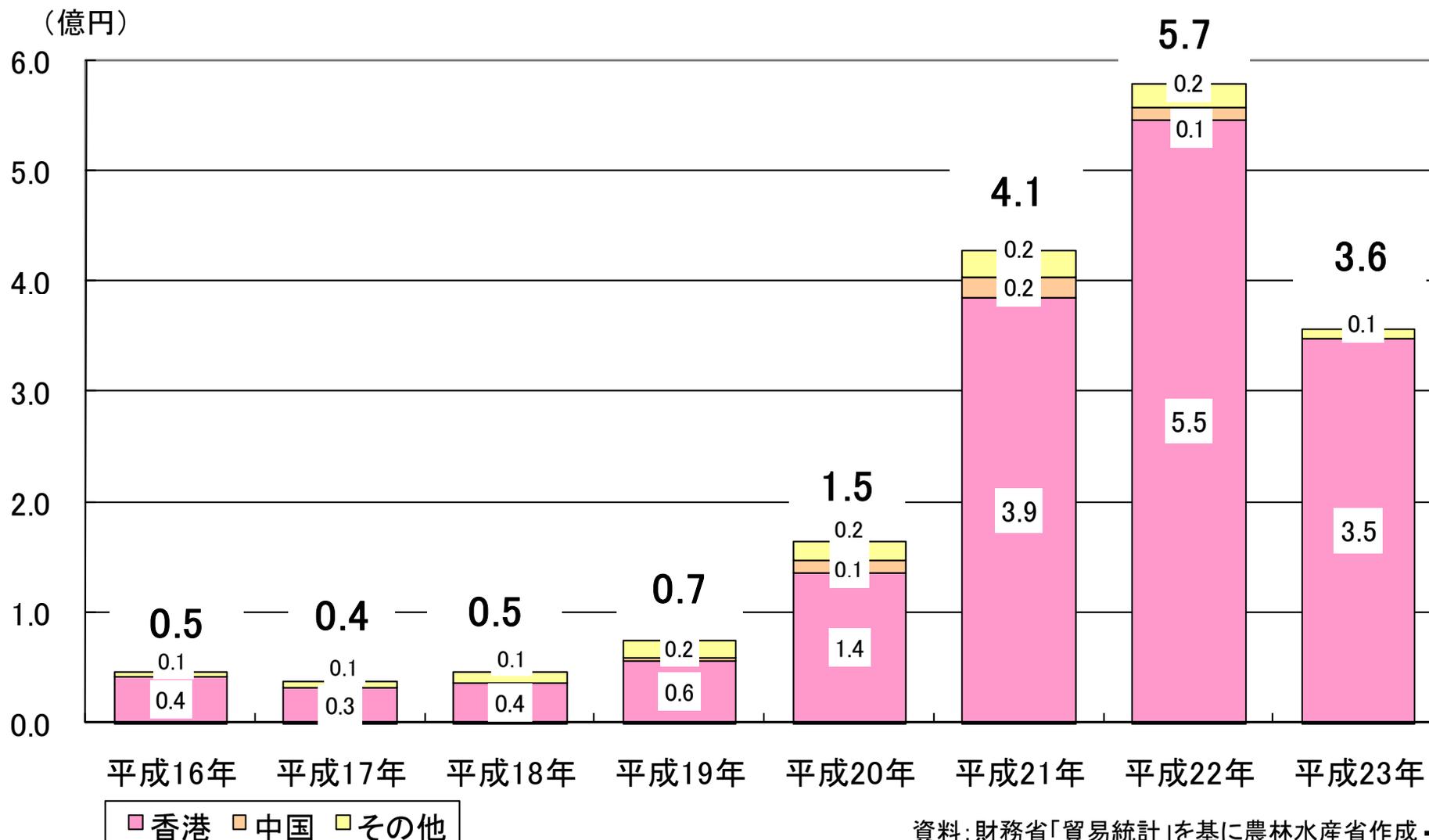
数字は、くず肉を除く。資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



# 牛乳の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

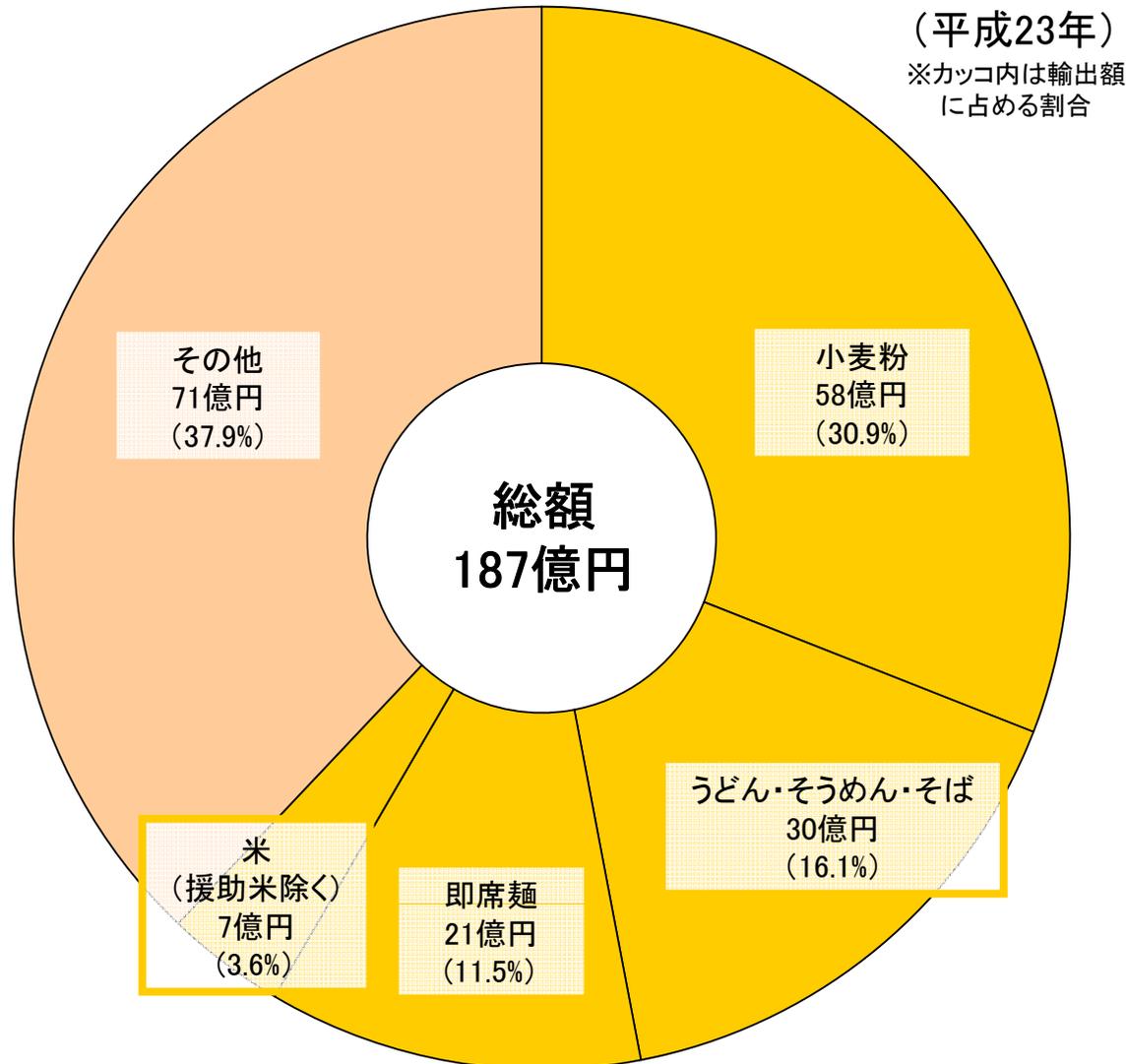
- 中国におけるメラミン混入事案(平成20(2008)年)を背景として、香港における日本産牛乳に対する需要により、輸出額が増加したが、東京電力福島第一原子力発電所事故等の影響により、輸出額は大きく減少。





# 穀物等の品目別内訳

●穀物等の品目別内訳をみると、小麦粉、うどん・そうめん・そば、即席麺などの割合が多い。



(単位: 億円)

品目名	平成22年	平成23年	増減率
小麦粉	58.6	57.9	▲1.2%
うどん・そうめん・そば	32.1	30.1	▲6.5%
即席麺	28.3	21.5	▲24.1%
米	24.4	16.9	▲30.8%
米(援助米除く)	6.9	6.8	▲1.2%
その他	66.6	60.9	▲8.6%
穀物等計	210.0	187.2	▲10.9%

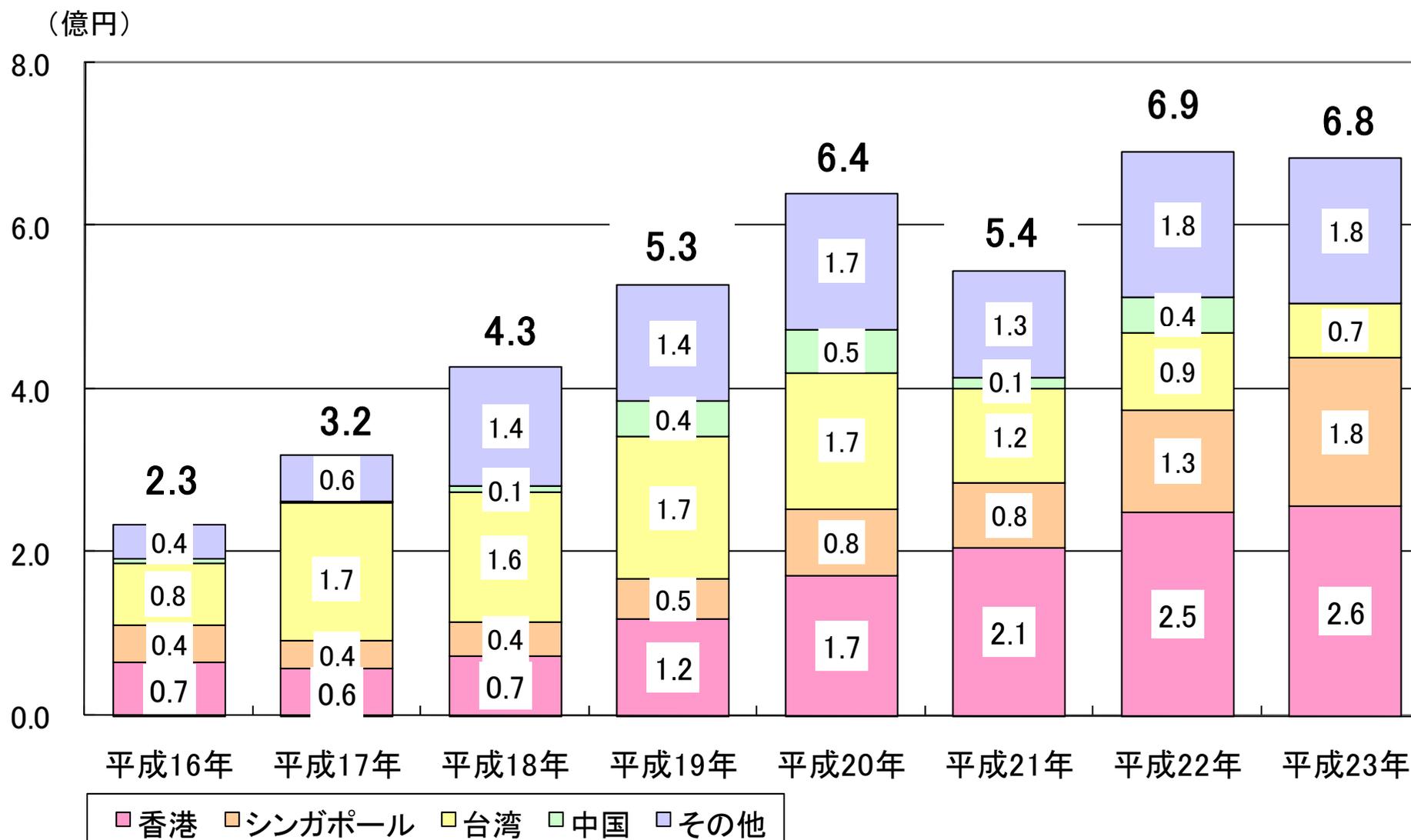
※小麦粉・・・用途は製菓用など。



# 米(援助米除く)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

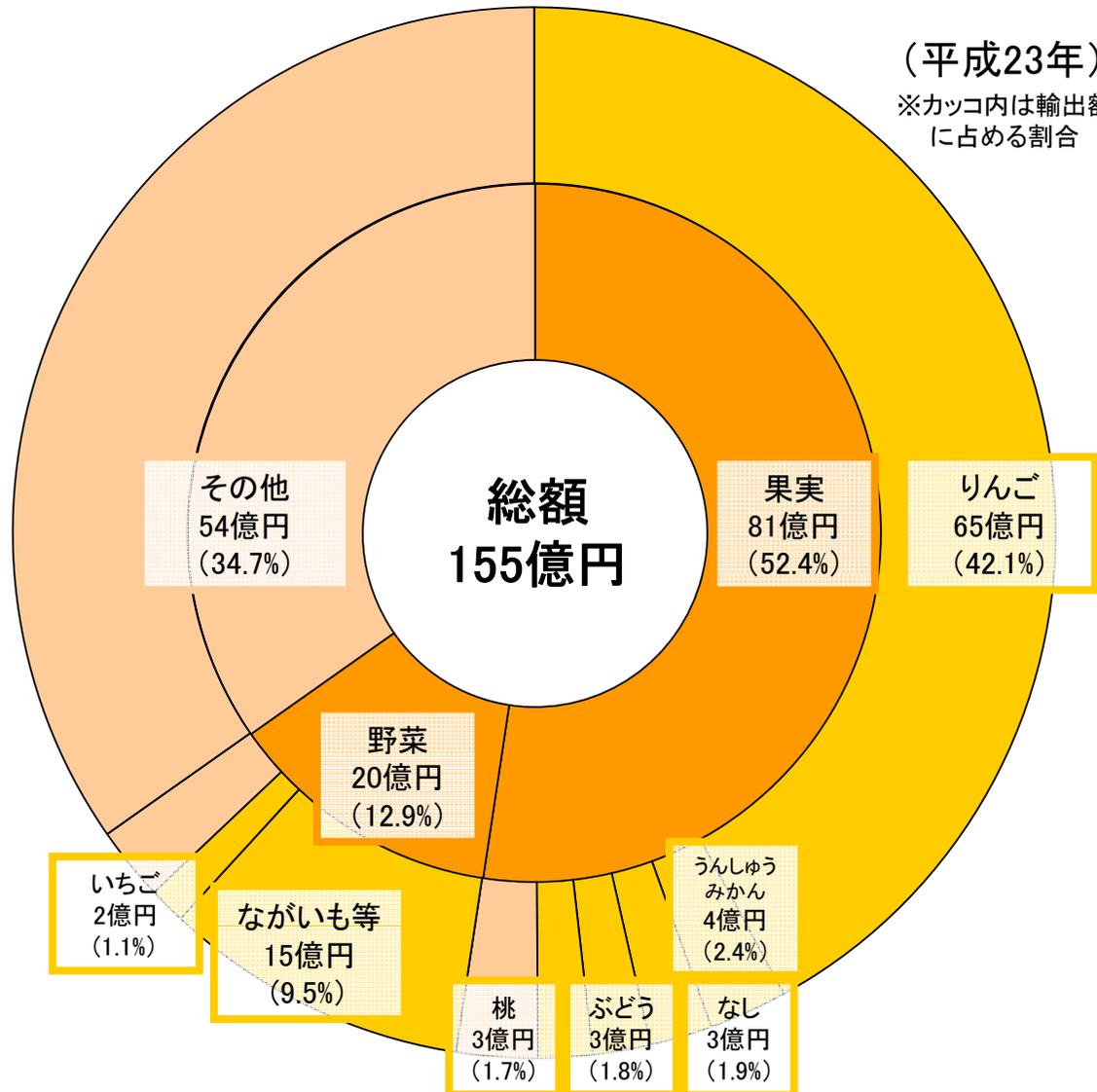
● 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は、増加傾向。





# 野菜・果実等の品目別内訳

● 野菜・果実等の品目別内訳をみると、りんご、ながいもなどの割合が多い。



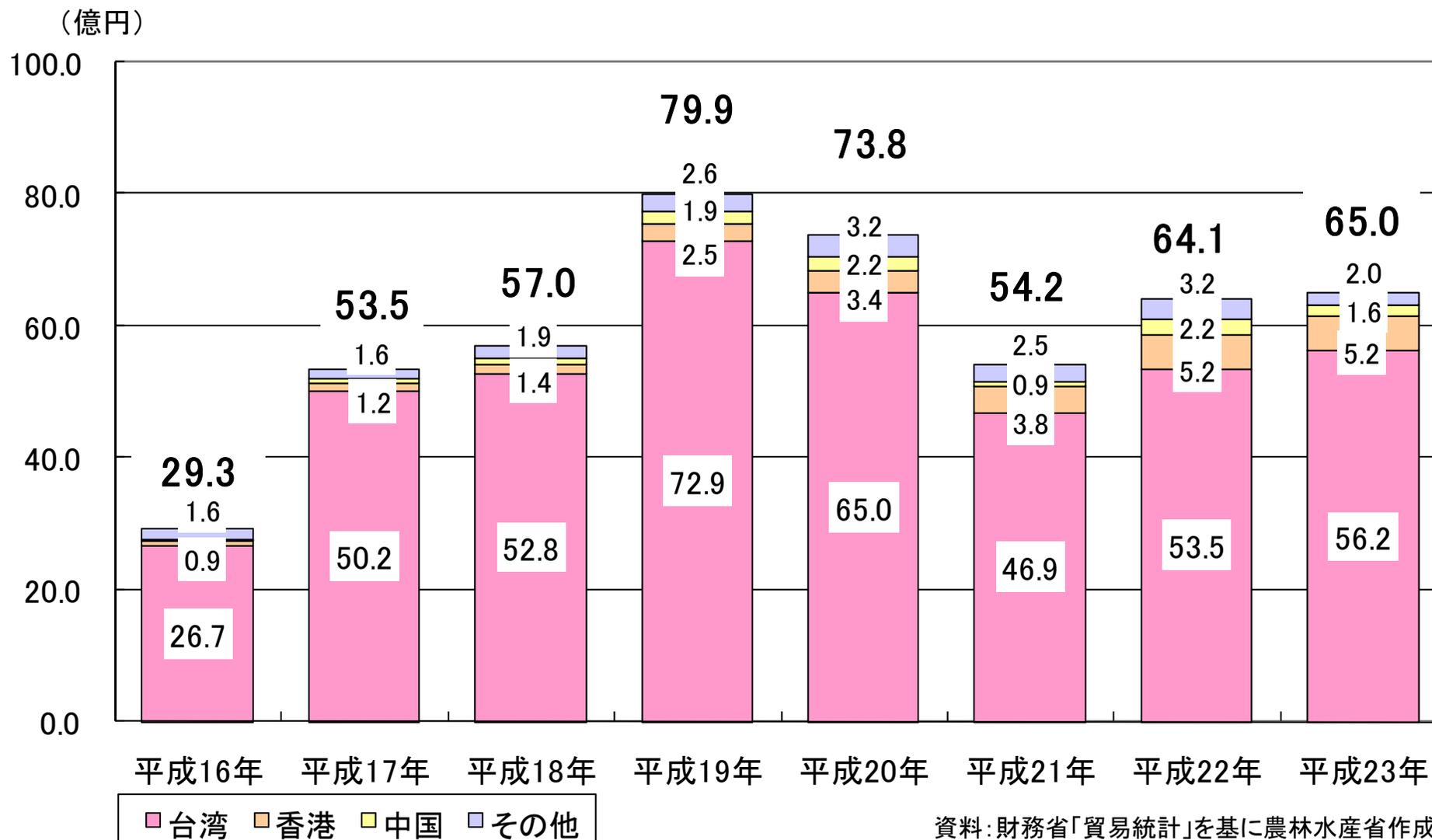
(単位: 億円)

品目名	平成22年	平成23年	増減率
果実	88.0	81.0	▲8.0%
りんご	64.1	65.0	▲1.4%
うんしゅうみかん	3.5	3.8	▲8.9%
なし	3.6	3.0	▲16.8%
ぶどう	4.2	2.8	▲34.8%
桃	4.5	2.6	▲42.9%
くり	5.7	1.7	▲70.5%
柿	1.5	1.4	▲5.0%
野菜	26.9	19.9	▲26.0%
ながいも等	20.0	14.6	▲26.7%
いちご	1.9	1.8	▲4.7%
かんしょ	1.6	1.2	▲24.5%
メロン	1.0	0.4	▲64.8%
キャベツ	0.3	0.2	▲23.7%
だいこん等	0.2	0.1	▲47.9%
ナッツ	12.2	10.9	▲10.4%
果汁	8.1	9.0	▲11.0%
生鮮きのこ	1.4	2.0	▲41.3%
乾しいたけ	1.6	1.4	▲17.0%
その他	35.1	30.4	▲13.3%
果実・野菜等計	173.3	154.6	▲10.8%



# りんごの輸出額・輸出先国の推移

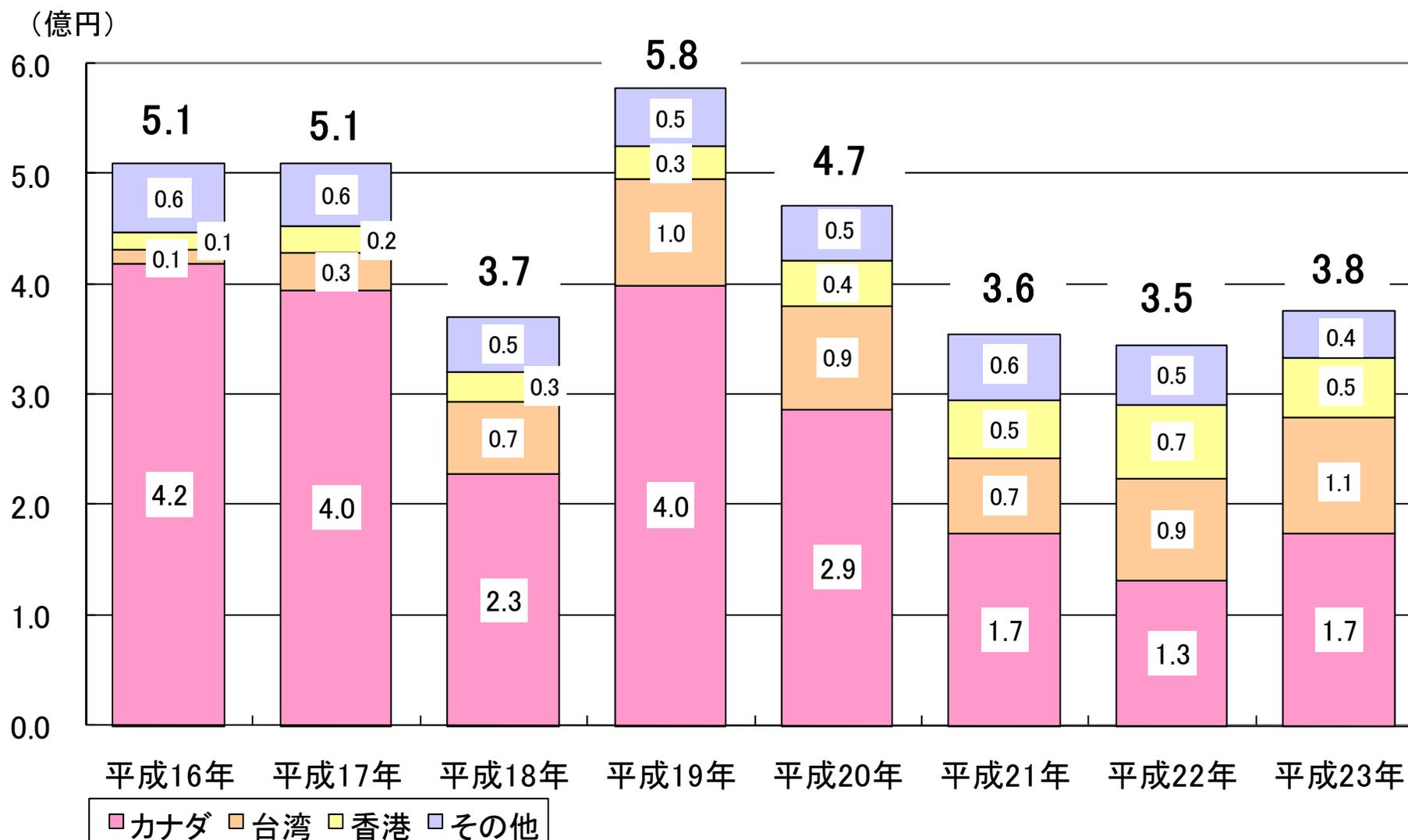
● りんごは、果実輸出の主力産品であり、台湾向けの輸出額が多い。





# うんしゅうみかんの輸出額・輸出先国の推移

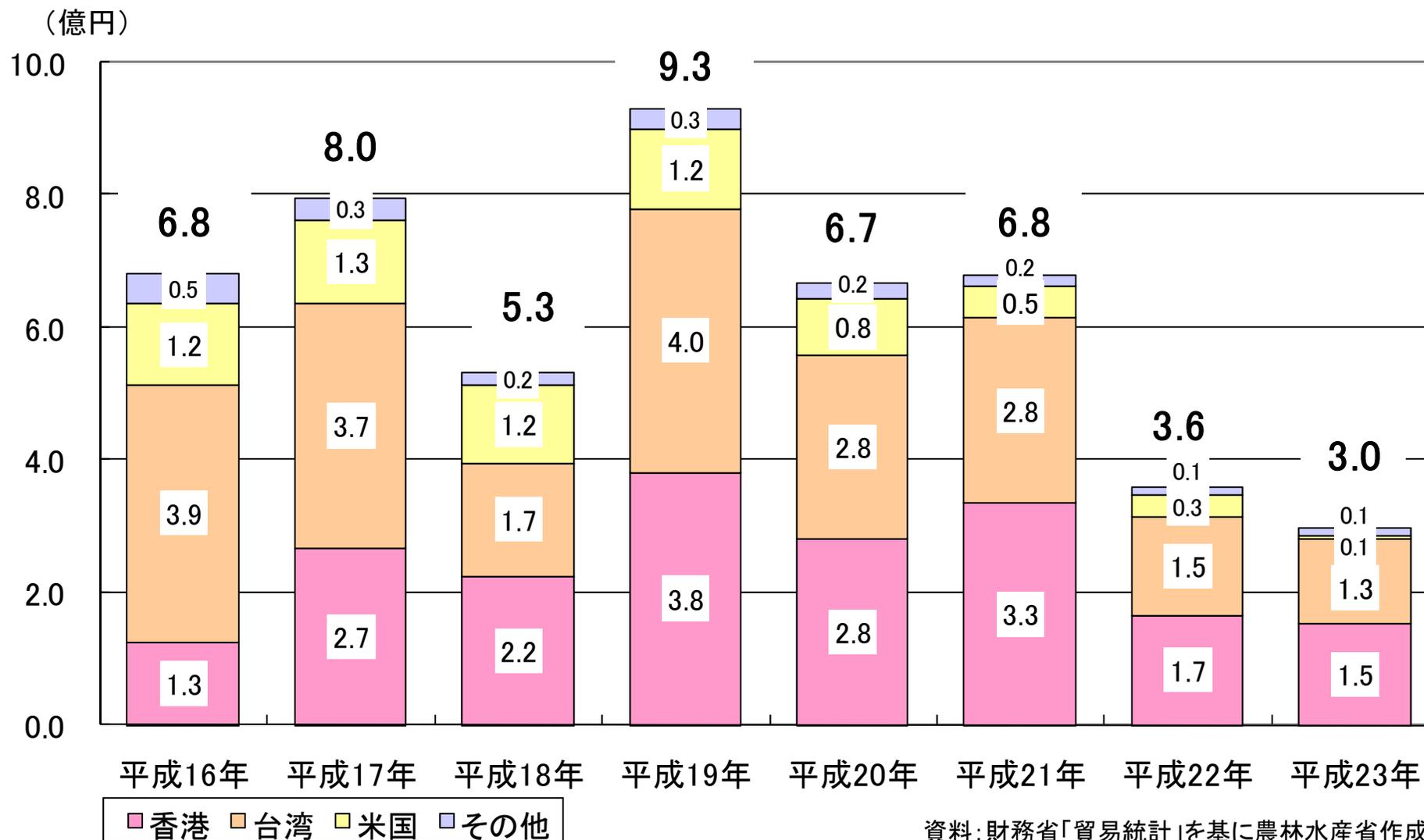
● うんしゅうみかんの輸出額は、カナダ、台湾向けが多い。





# なしの輸出額・輸出先国の推移

● なしの輸出額は、減少傾向。

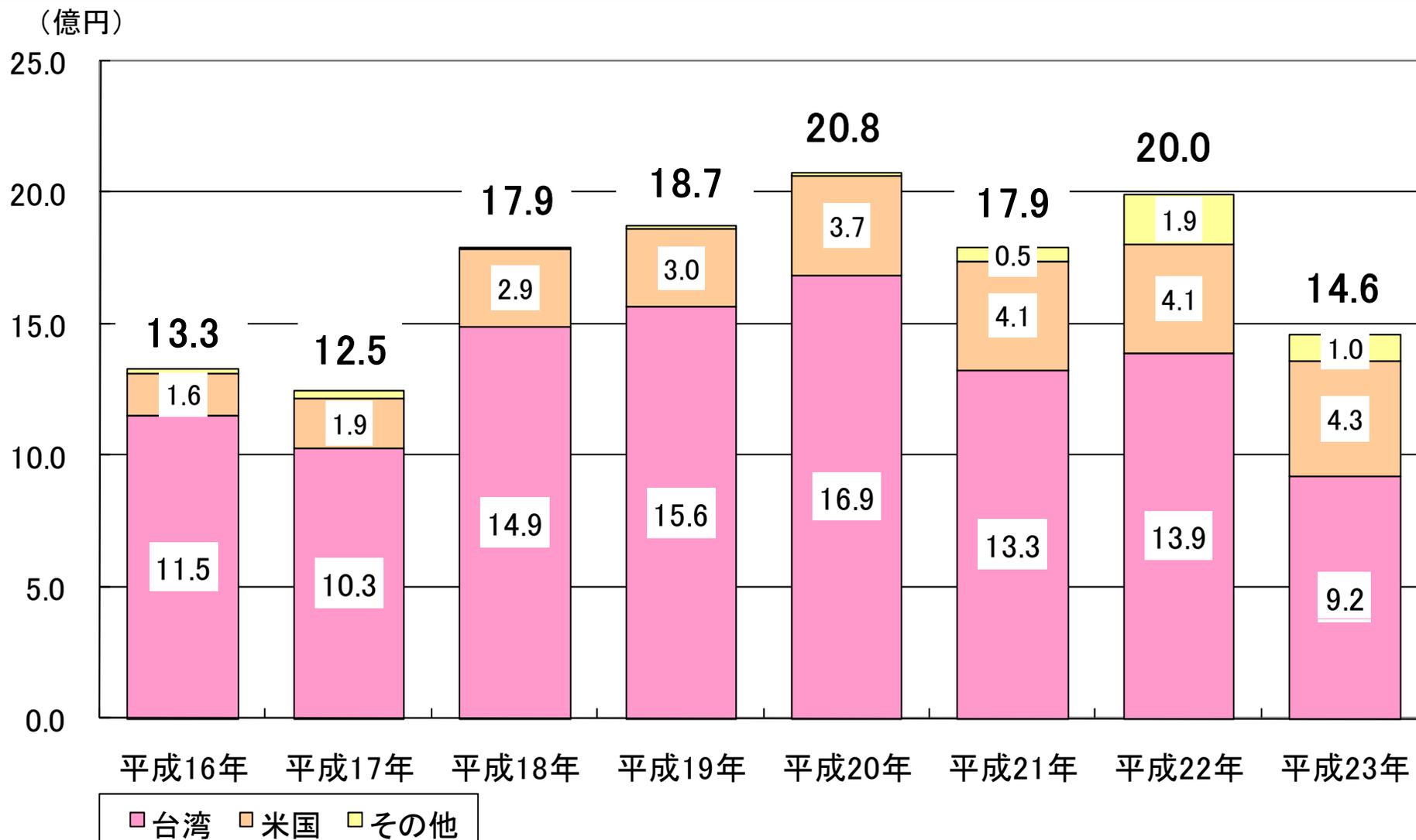




# ながいも等の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

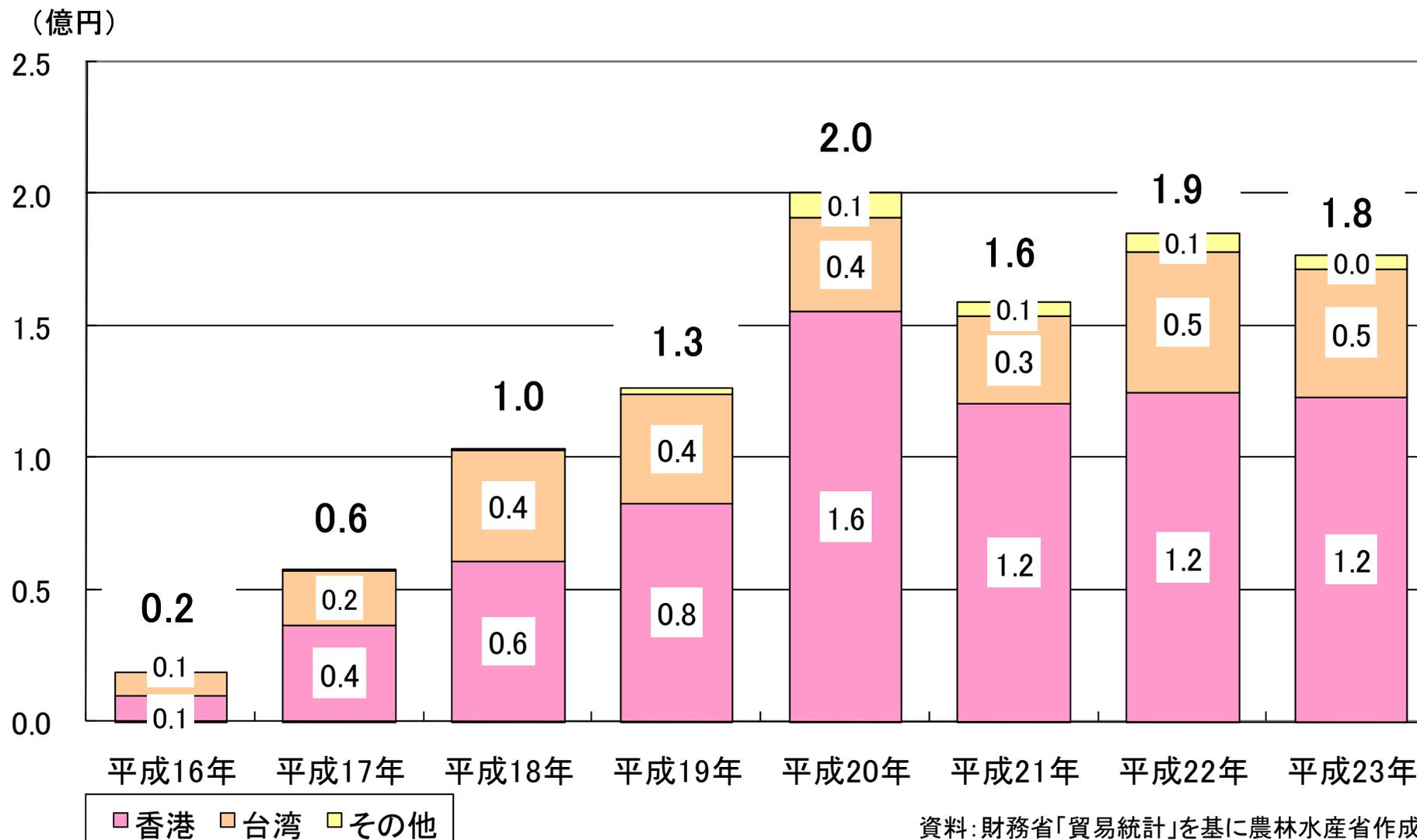
- ながいも等は野菜輸出の主力産品であり、台湾向けの輸出額が多い。





# いちごの輸出額・輸出先国の推移

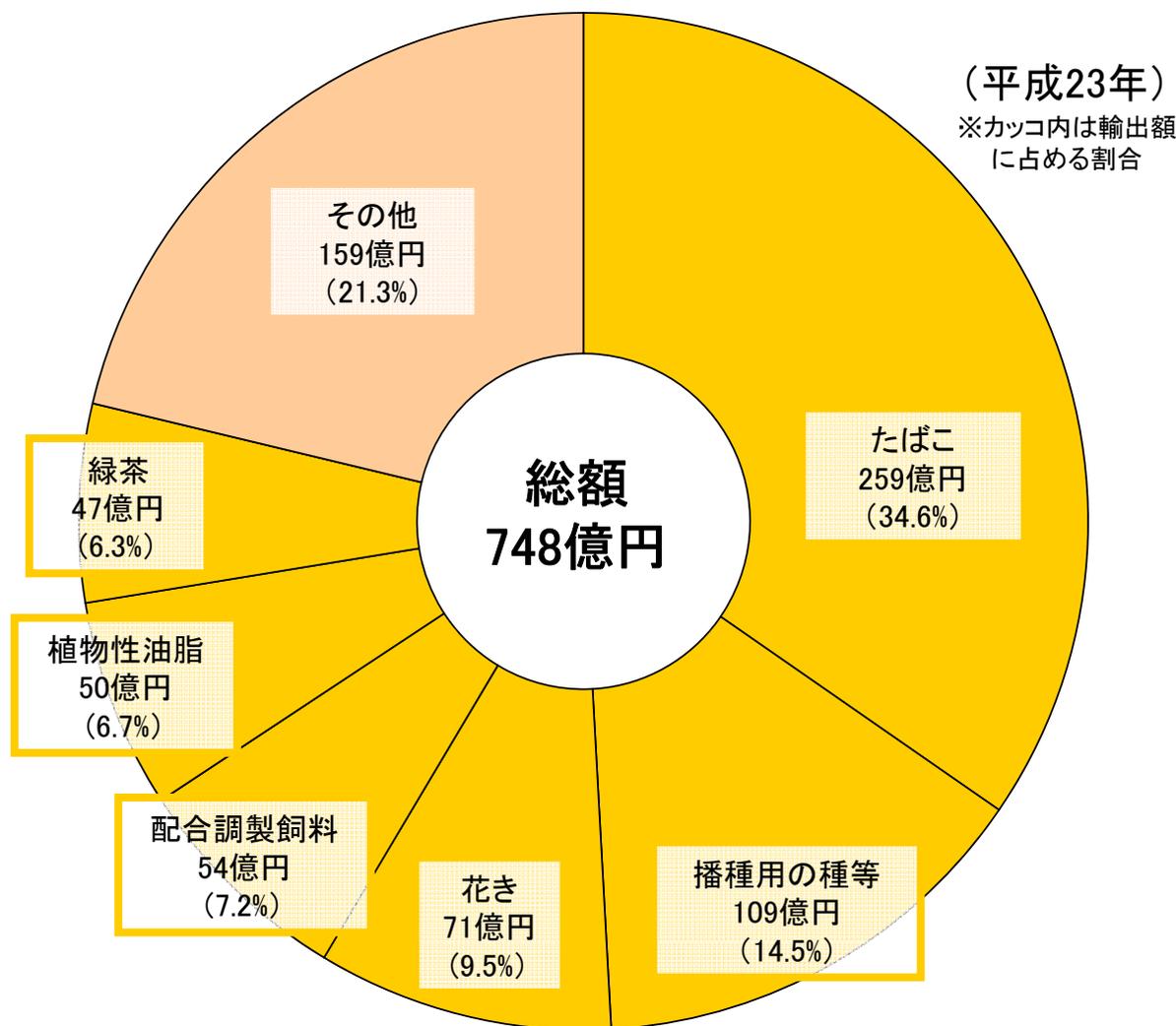
●いちごの輸出額は、香港、台湾向けを中心に増加傾向。





# その他農産物の品目別内訳

●その他の農産物では、たばこ、播種用の種等、花きなどの割合が多い。



(単位:億円)

品目名	平成22年	平成23年	増減率
たばこ	268.6	259.0	▲3.6%
播種用の種等	107.4	108.7	1.2%
花き	67.0	70.9	5.8%
植木等	61.6	66.9	8.6%
苗物類	3.6	2.7	▲25.7%
切花	1.4	0.9	▲31.2%
配合調製飼料	60.8	53.7	▲11.7%
植物性油脂	53.7	49.9	▲7.1%
ごま油	30.2	28.1	▲6.8%
緑茶	42.4	47.2	11.2%
植物の液汁エキス	26.3	27.5	4.6%
メントール	22.7	27.5	20.9%
インスタントコーヒー	25.3	20.0	▲20.9%
茶のエキス	12.8	10.8	▲15.4%
コーヒー	6.6	6.7	2.2%
ペットフード	6.1	5.4	▲10.8%
ココアペースト	1.1	3.1	174.4%
ぶどう糖	1.5	2.9	100.5%
砂糖	1.7	1.5	▲9.3%
生糸	1.4	1.5	4.2%
その他	55.3	52.2	▲5.6%
その他農産物計	760.7	748.5	▲1.6%

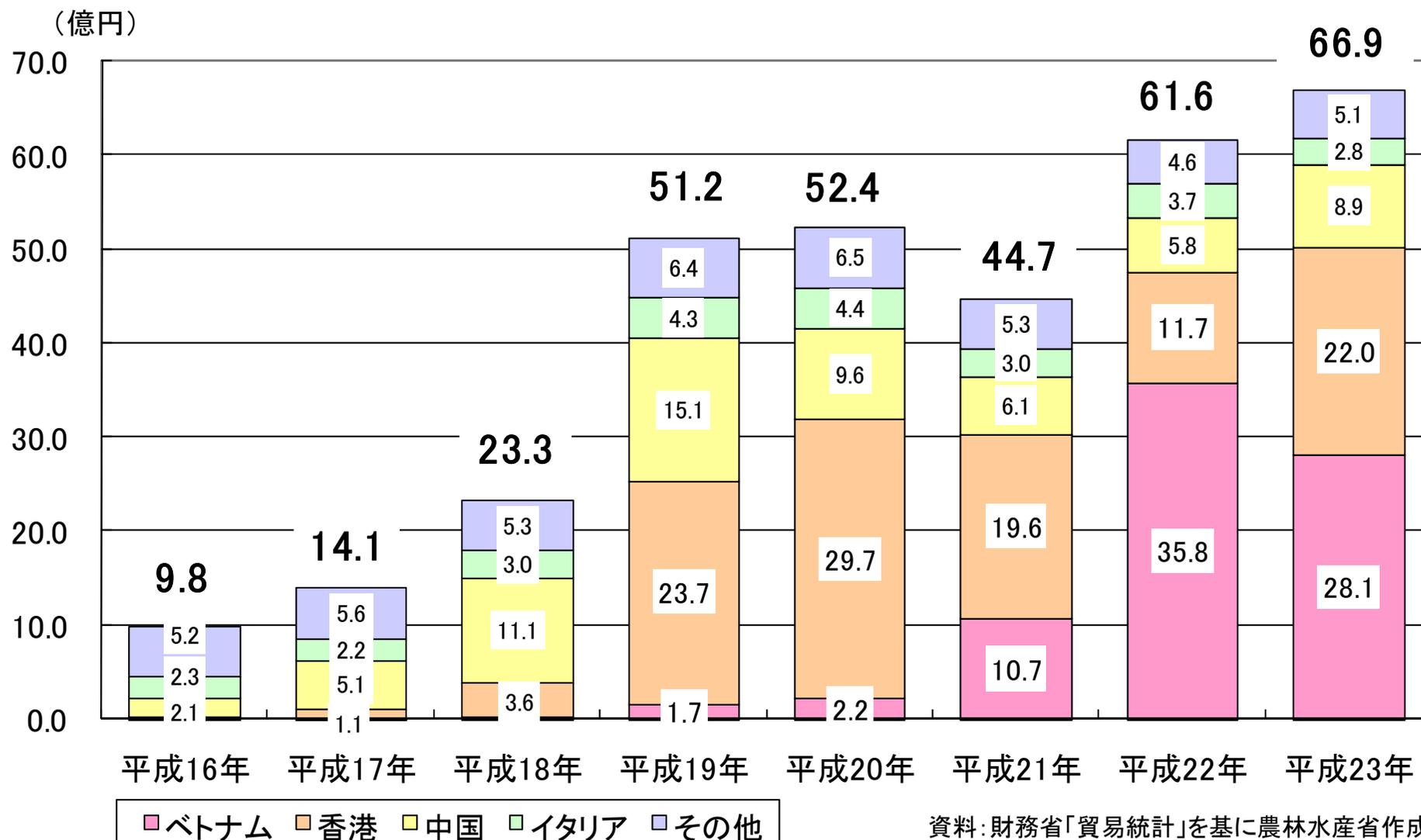
※植物の液汁エキス…用途は健康食品や化粧品など。

メントール…ハッカから抽出される成分で、医薬品などに使用。



# 植木等の輸出額・輸出先国の推移

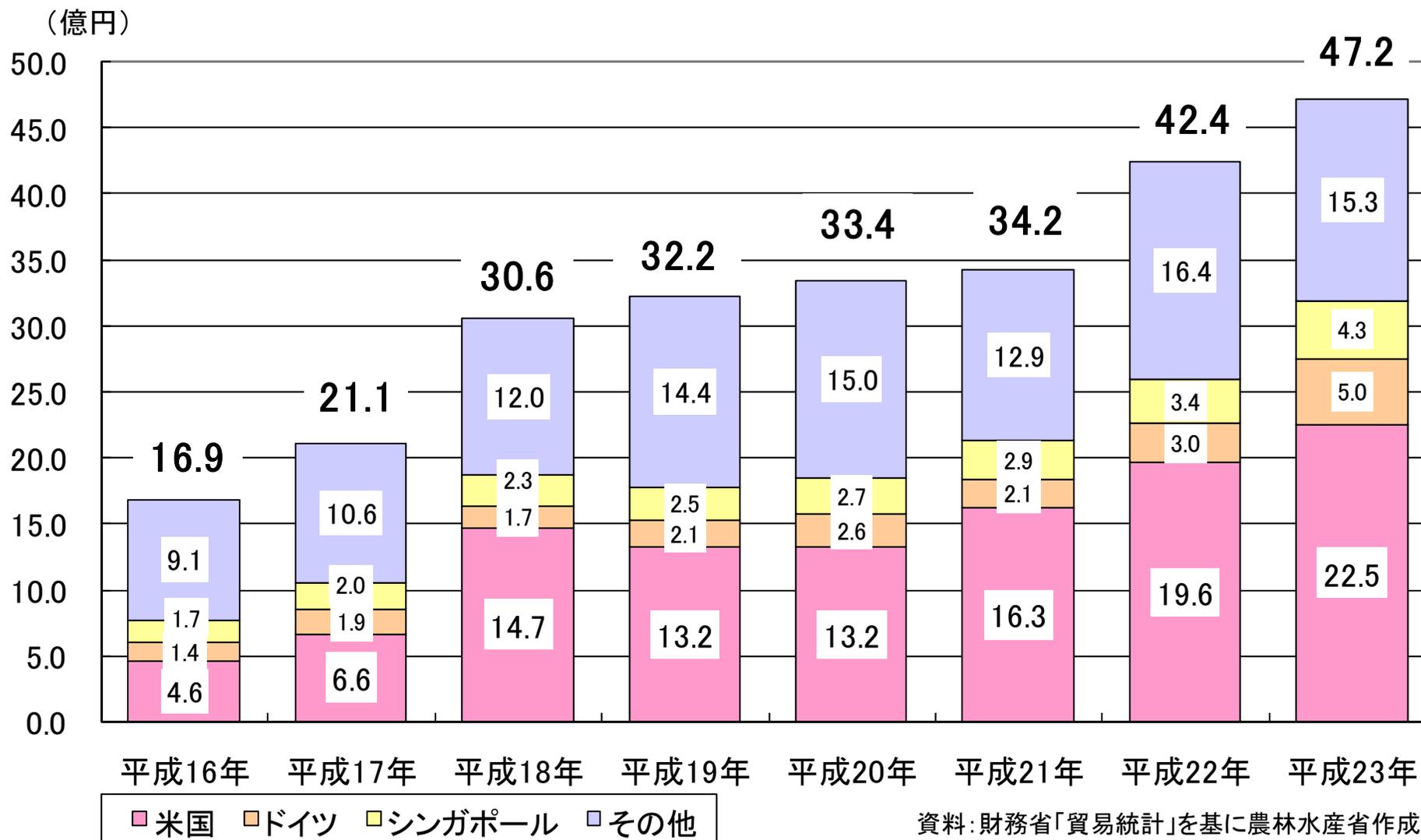
●植木等(植木類、盆栽類、鉢物類)の輸出額は、増加傾向。





# 緑茶の輸出額・輸出先国の推移

- 緑茶の輸出額は、順調に増加。
- 米国向けの輸出額が多く、店頭販売用の緑茶の需要が好調。

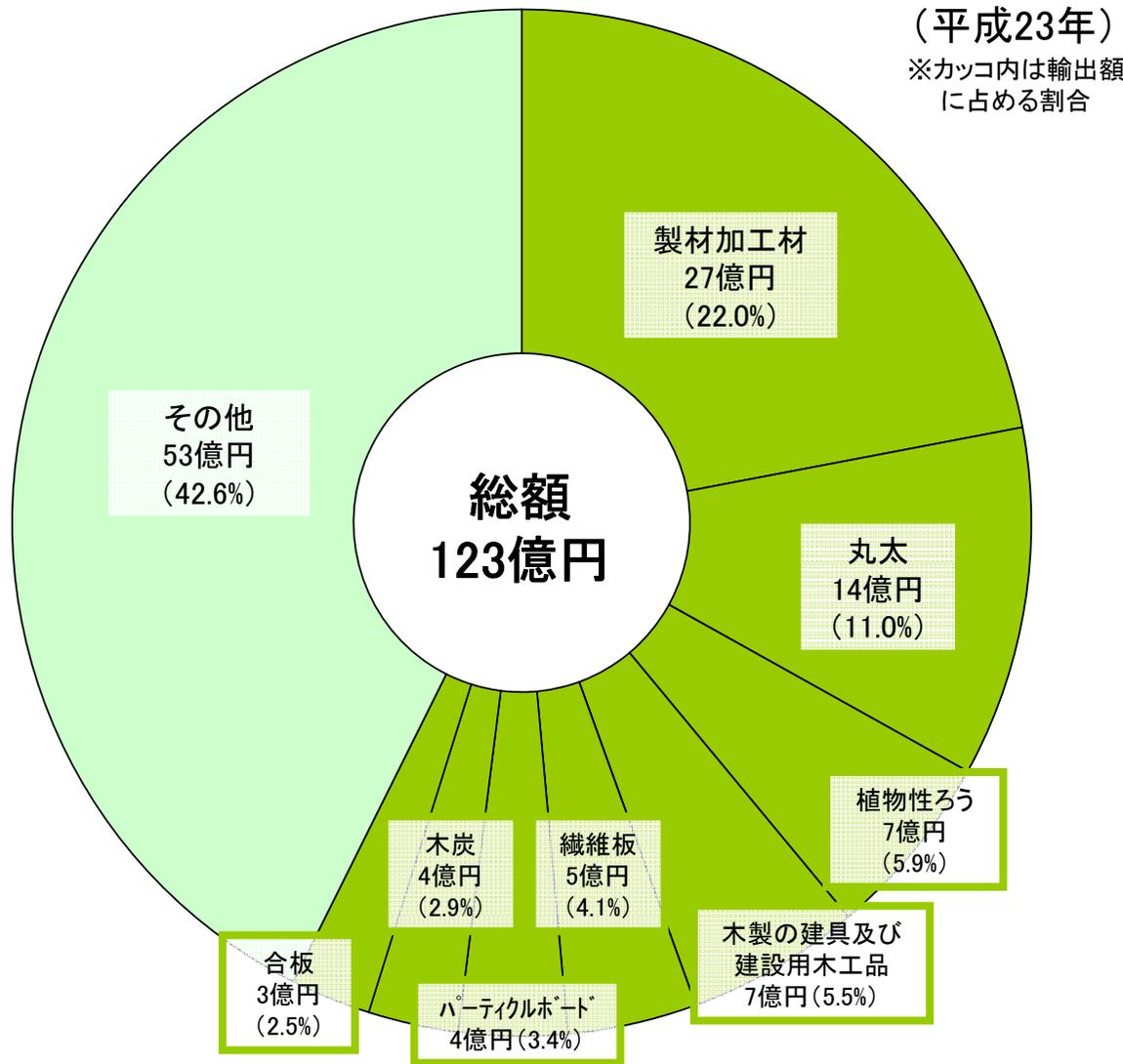


資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



# 林産物の品目別内訳

●林産物の品目別内訳をみると、製材加工材、丸太、植物性ろうなどの割合が多い。



(単位: 億円)

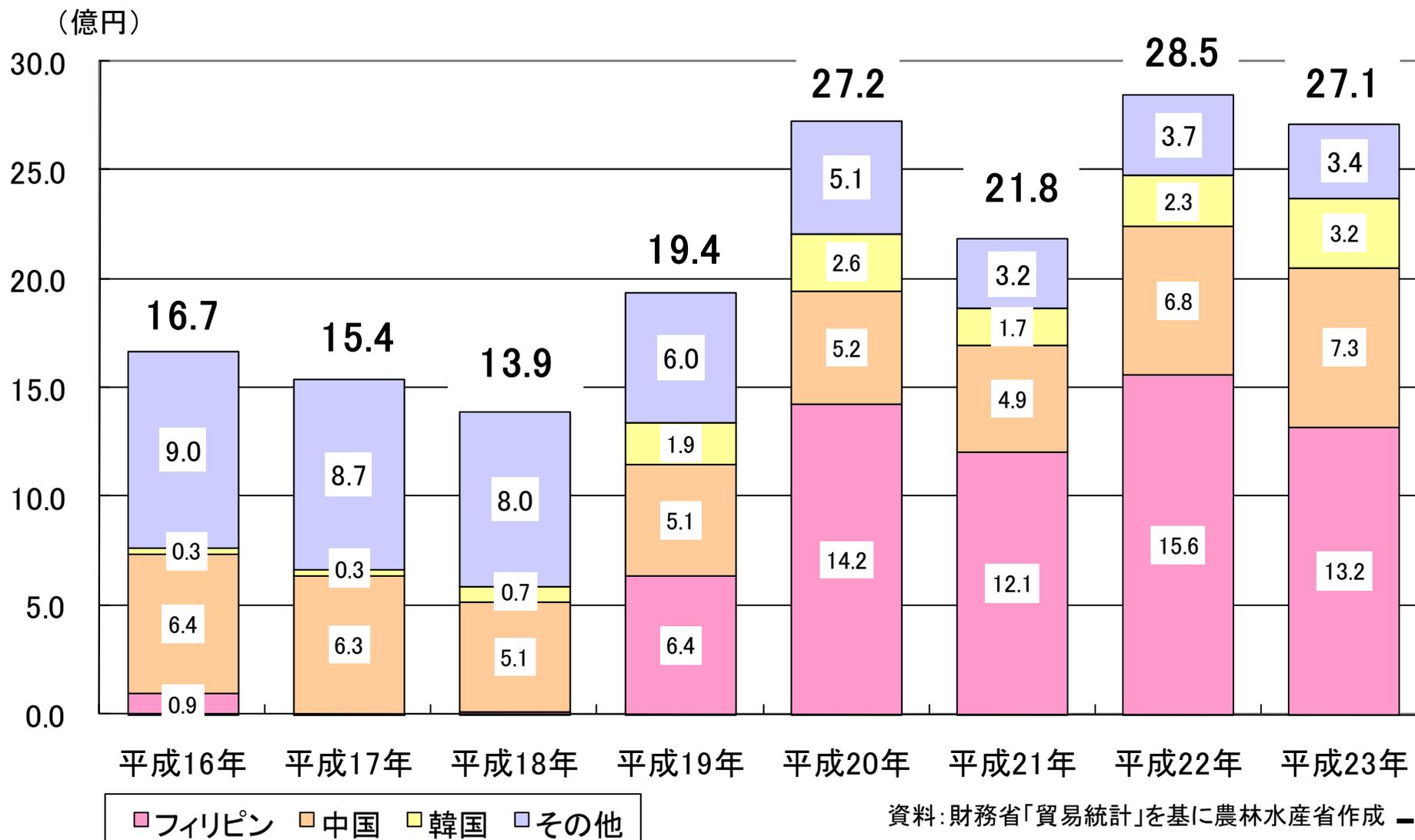
品目名	平成22年	平成23年	増減率
製材加工材	28.5	27.1	▲4.7%
丸太	8.7	13.6	56.2%
植物性ろう	8.0	7.3	▲9.5%
木製の建具及び建設用木工品	9.2	6.8	▲25.7%
繊維板	5.2	5.1	▲3.4%
パーティクルボード	5.3	4.2	▲19.8%
木炭	3.5	3.5	1.3%
合板	3.2	3.1	▲3.1%
その他	34.3	52.5	52.9%
林産物計	105.9	123.2	16.3%

※ 植物性ろう・・・用途は、化粧品など。  
木炭・・・用途は、お香専用炭(いわゆる香炭団(こうたどん))など。



# 製材加工材の輸出額・輸出先国の推移

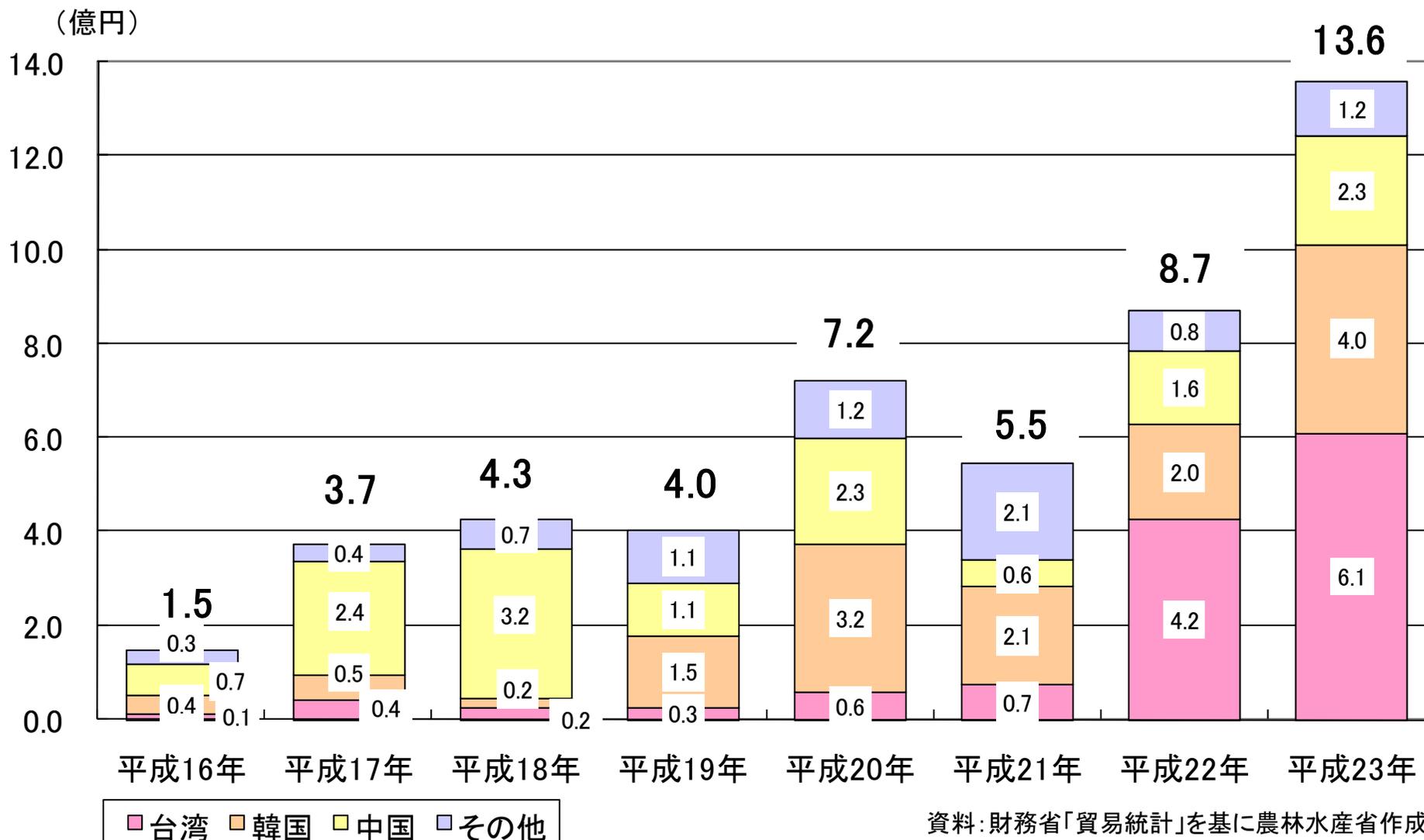
- 製材加工材の輸出額は、増加傾向。
- 特に、平成19年以降は、フィリピン向けの輸出額が大きく増加。





# 丸太の輸出額・輸出先国の推移

- 丸太の輸出額は、増加傾向。
- 特に、平成22年以降は、台湾向けの輸出額が大きく増加。



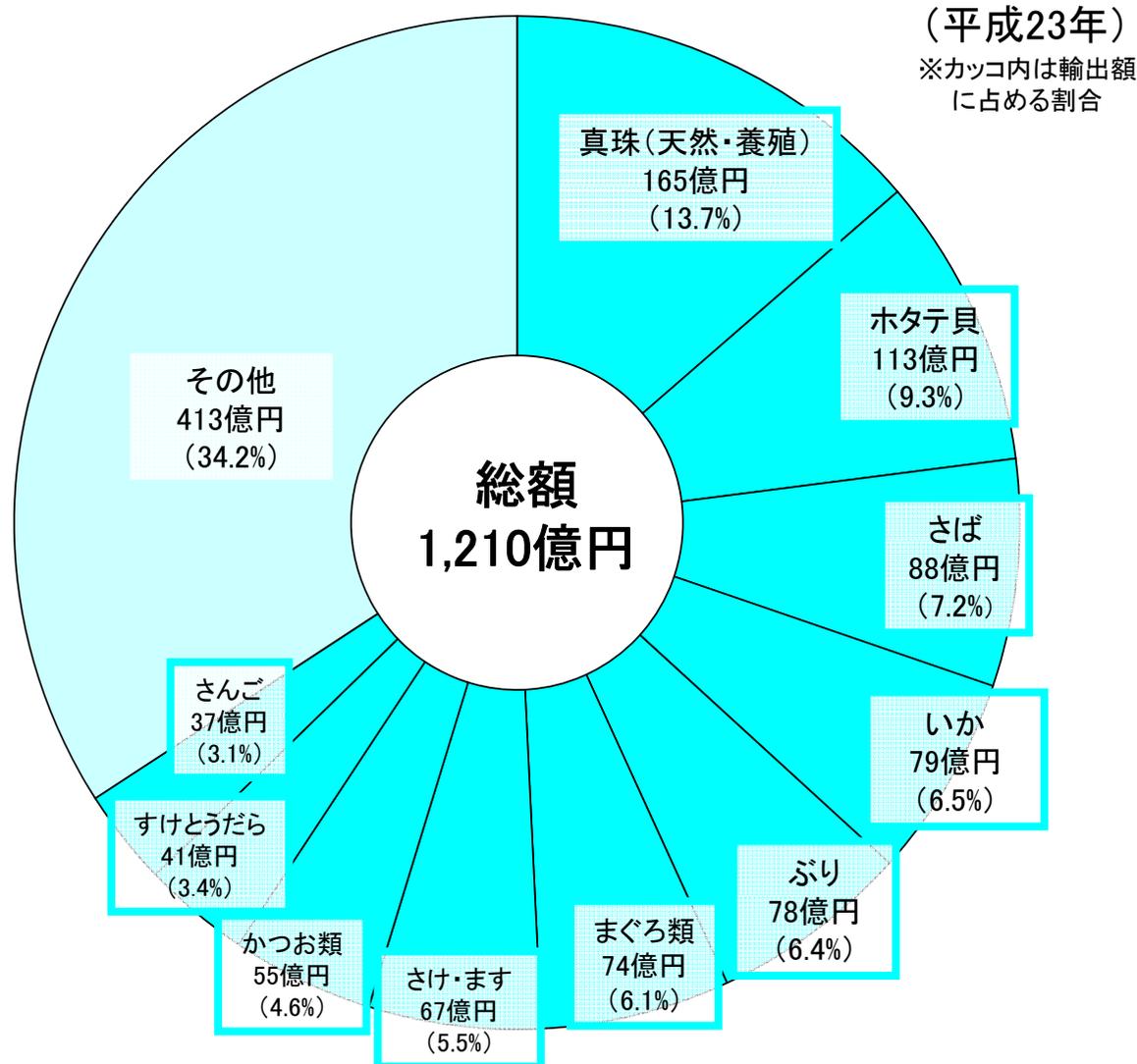


# 水産物(水産調製品以外)の品目別内訳

MAFF

●水産物(水産調製品以外)の品目別内訳をみると、真珠、ホタテ貝、さば、いか、ぶりなどの割合が多い。

(単位:億円)



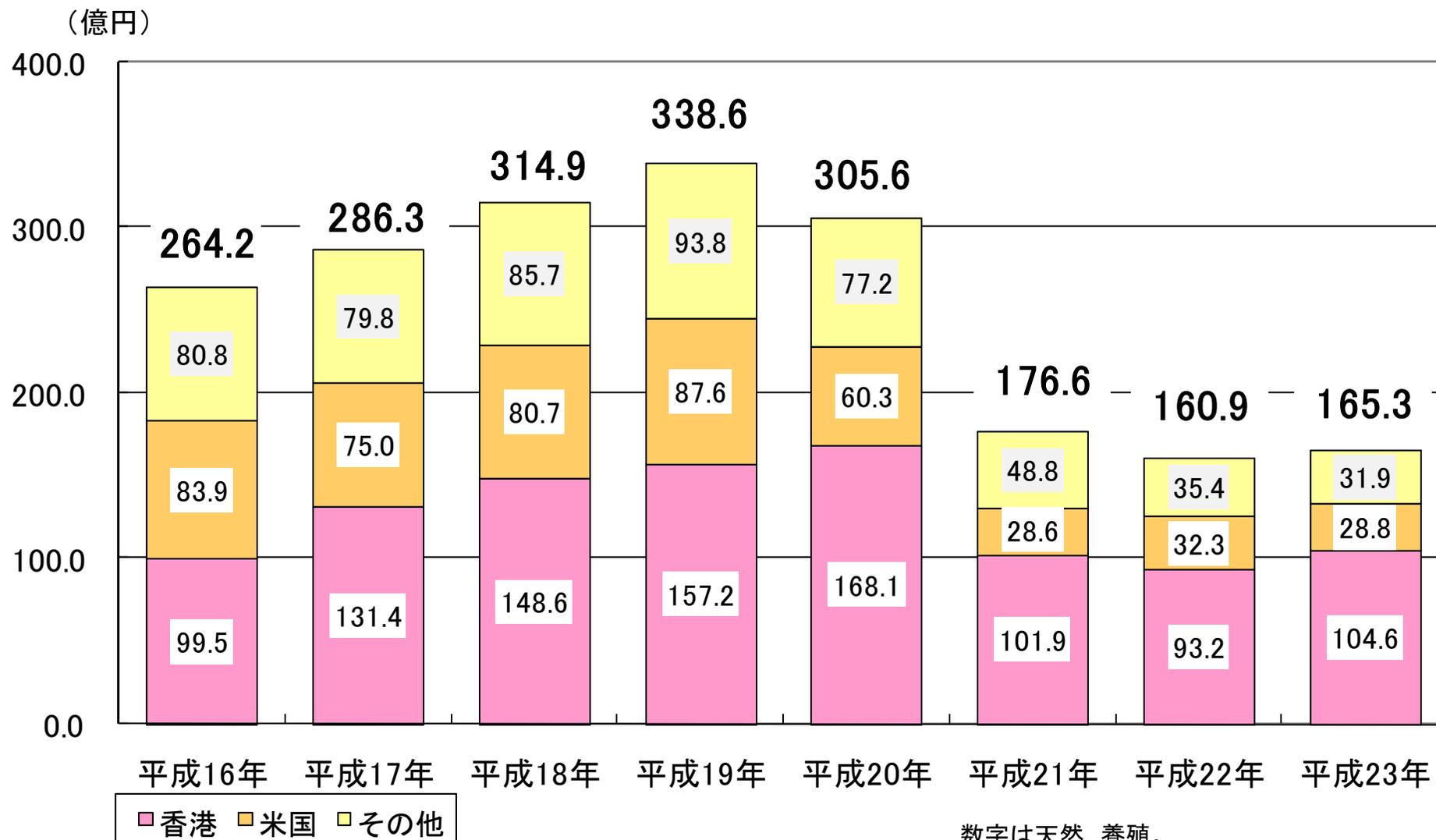
品目名	平成22年	平成23年	増減率
真珠(天然・養殖)	160.9	165.3	2.8%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	102.9	112.7	9.6%
さば(生・蔵・凍)	100.7	87.7	▲13.0%
いか(生・蔵・凍)	48.6	78.7	61.9%
ぶり(生・蔵・凍)	65.7	77.6	18.1%
まぐろ類(生・蔵・凍)	63.0	73.6	16.9%
さけ・ます(生・蔵・凍)	179.8	67.0	▲62.8%
かつお類(生・蔵・凍)	72.7	55.4	▲23.7%
すけとうだら(生・蔵・凍)	77.3	41.5	▲46.3%
さんご	31.1	37.1	19.3%
錦鯉等観賞用魚	28.0	25.4	▲9.3%
たい(活)	22.2	22.3	0.5%
さんま(冷凍)	51.3	13.8	▲73.1%
干しのり 焼きのり 味付けのり	11.6	9.0	▲22.3%
たら(生・蔵・凍、すけとう除く)	11.1	8.8	▲21.1%
さめ(生・蔵・凍)	9.0	7.8	▲12.6%
いわし(生・蔵・凍)	2.0	7.3	257.8%
さめのひれ	7.5	7.0	▲7.2%
乾こんぶ	8.1	6.7	▲17.6%
かに(冷凍)	5.2	5.2	▲1.6%
めろ(生・蔵・凍)	4.0	4.3	7.9%
たこ(活・生・蔵・凍・塩・乾)	4.3	4.2	▲3.2%
うなぎ(活)	3.6	4.0	10.9%
えび(冷凍)	5.0	3.6	▲28.3%
魚油(肝油除く)	5.3	3.4	▲35.8%
ひらめ・かれい(生・蔵・凍)	1.1	3.2	192.4%
ほや(活・生・蔵)	14.5	2.2	▲85.2%
魚粉	0.8	1.3	63.1%
寒天	1.6	1.3	▲18.6%
その他	268.6	272.5	1.5%
水産物(水産調製品以外)計	1,367.7	1,209.9	▲11.5%



# 真珠(天然・養殖)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

● 真珠は、我が国の主力輸出産品であるが、輸出額は減少傾向。



数字は天然、養殖。

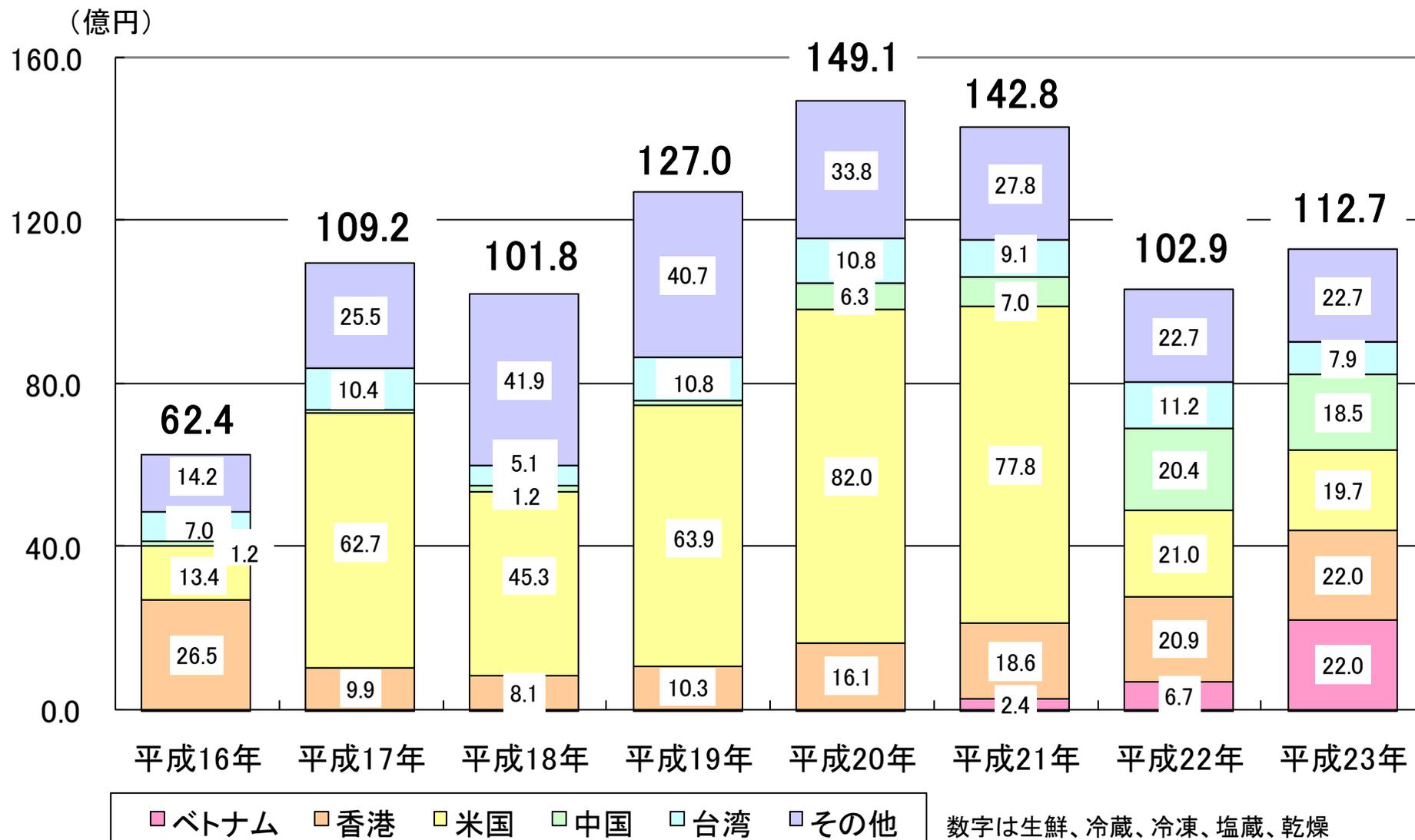
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -29-



# ホタテ貝の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

● ホタテ貝は、我が国の主力輸出産品。



数字は生鮮、冷蔵、冷凍、塩蔵、乾燥

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -30-

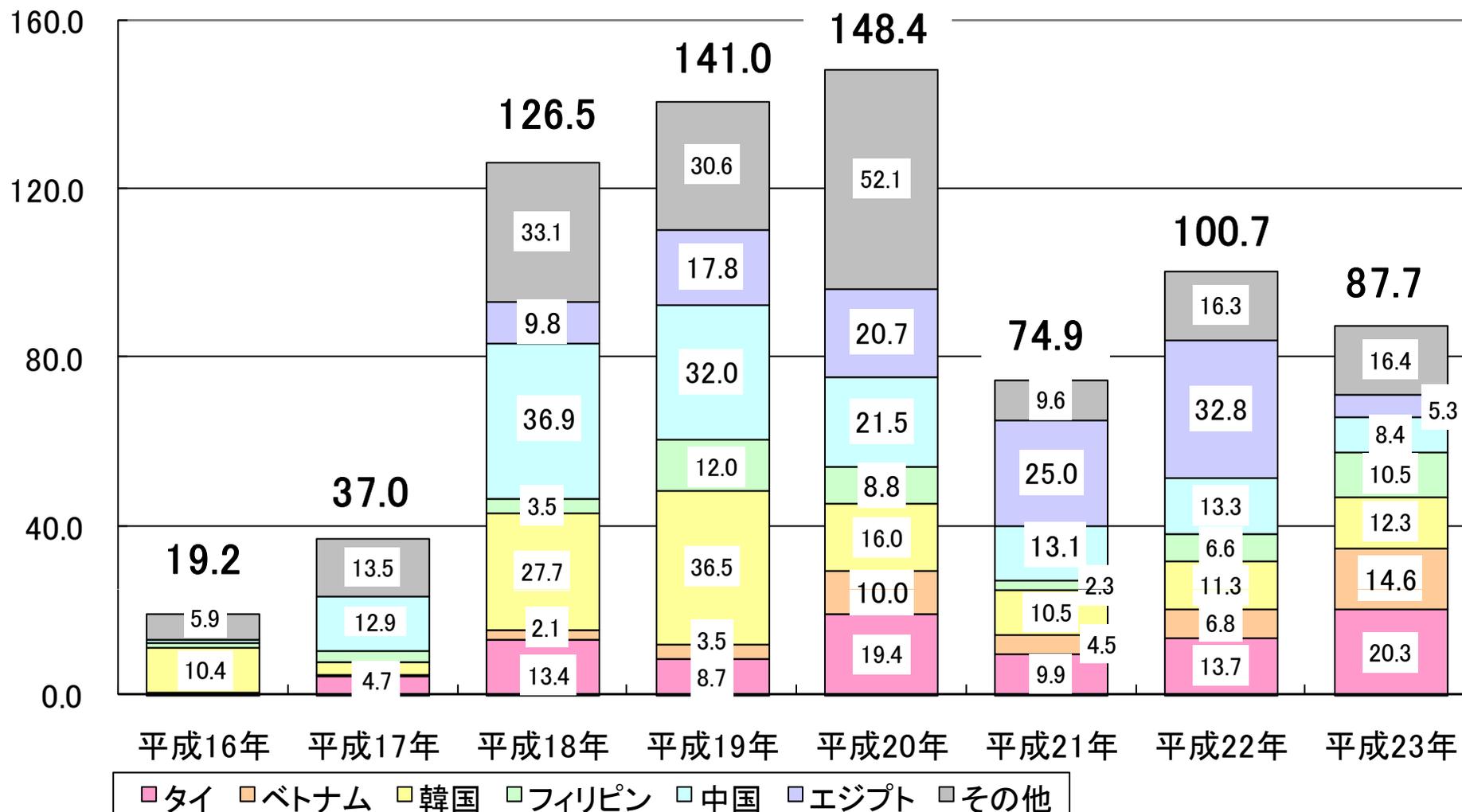


# さばの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

● さばのタイ、ベトナム向け輸出は、加工原料用。

(億円)

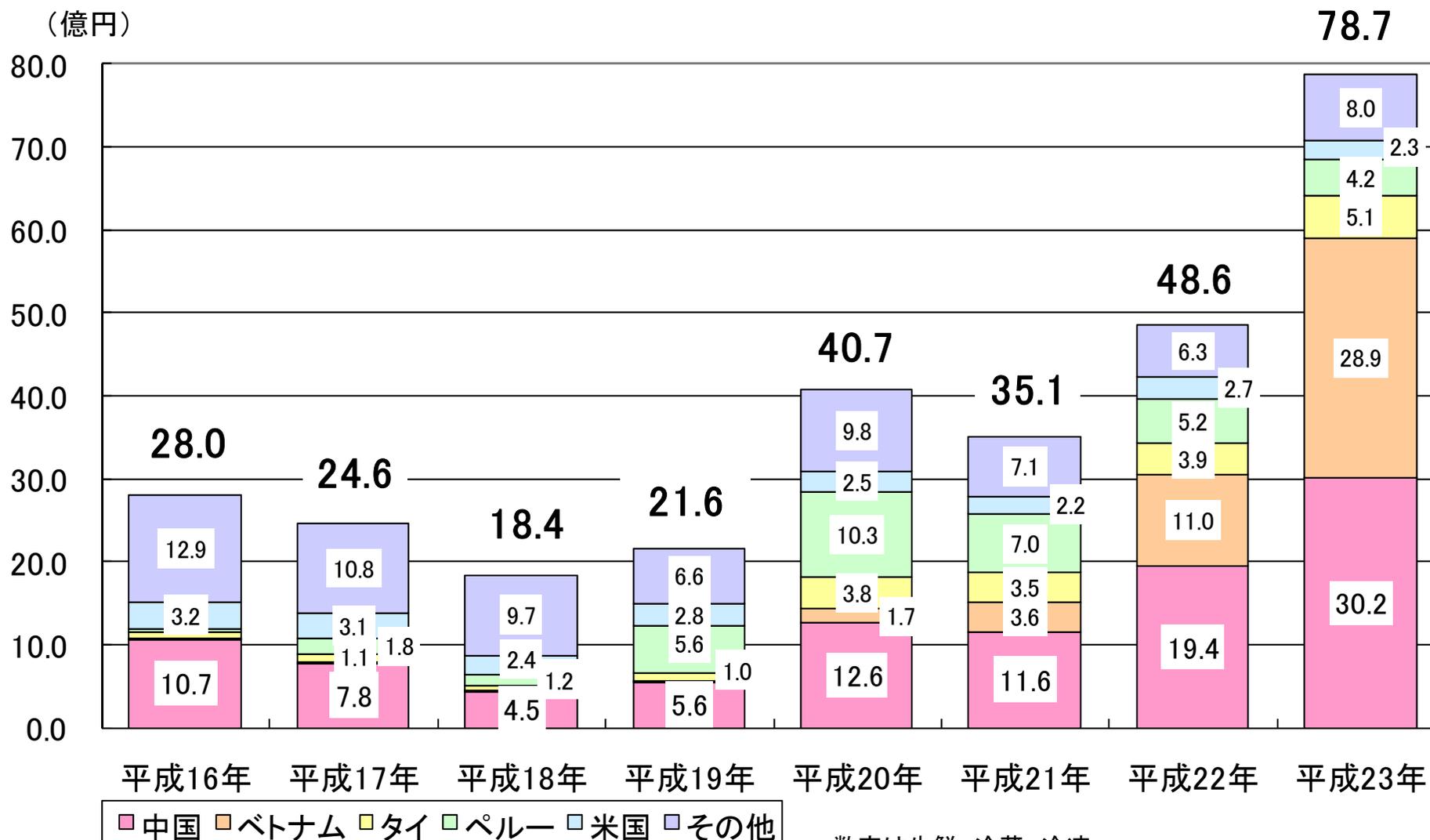


数字は、平成22年まで冷蔵、冷凍。平成23年は、生鮮、冷蔵、冷凍。資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



# いかの輸出額・輸出先国の推移

- いかの輸出額は増加傾向。
- 中国、ベトナム向け輸出は、加工原料用。



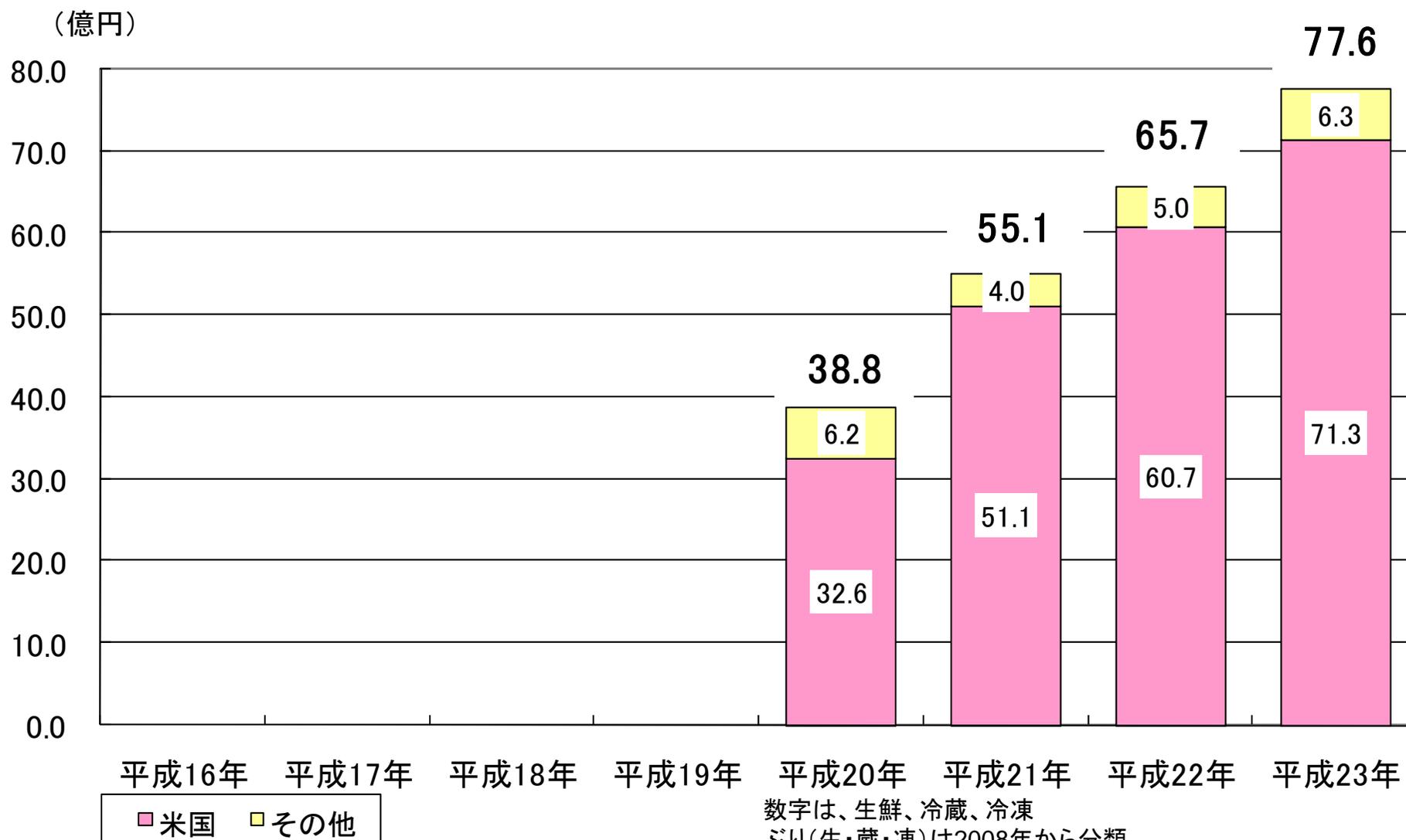
数字は生鮮、冷蔵、冷凍  
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



# ぶりの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- ぶりの輸出額は、米国向けを中心に順調に増加。

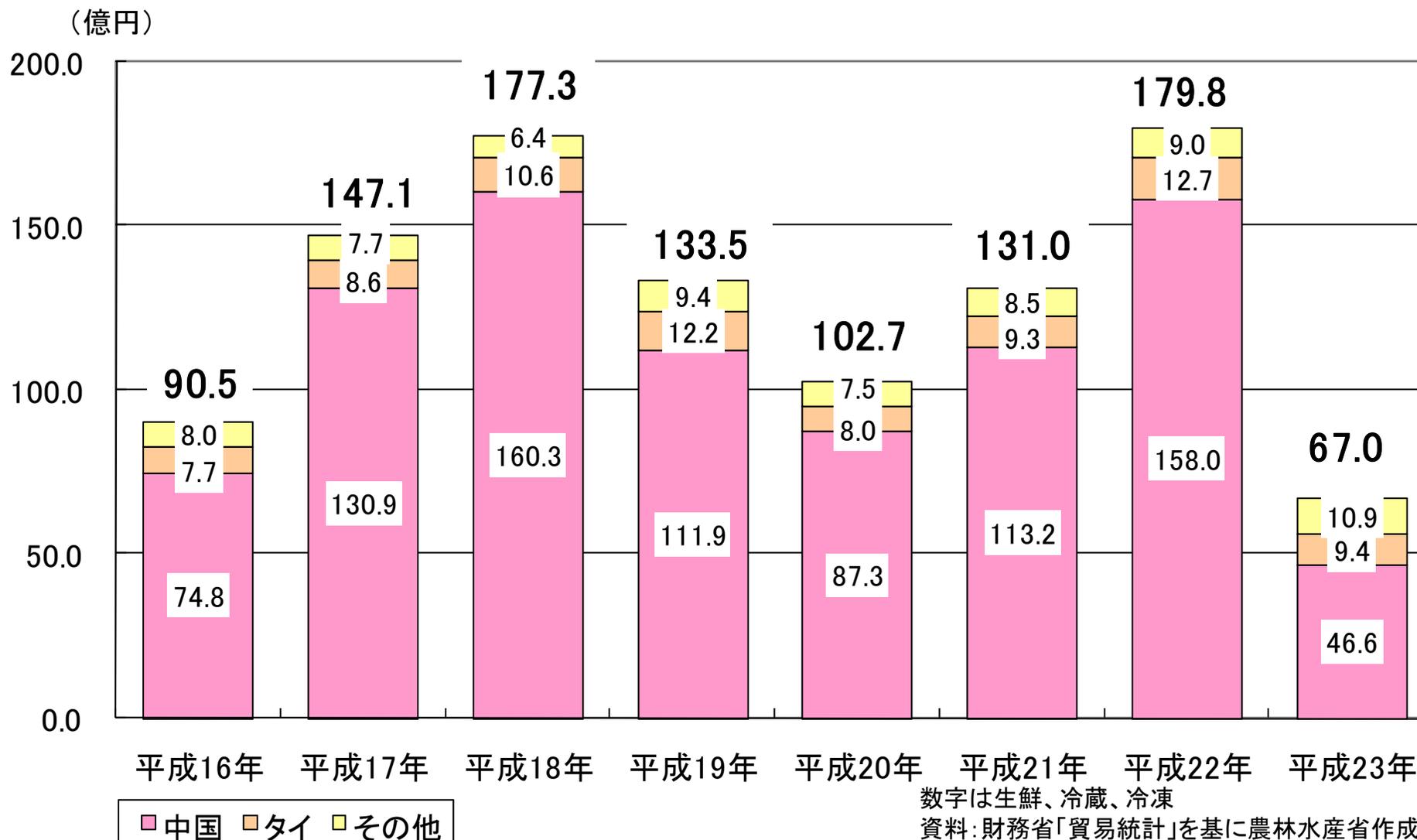


数字は、生鮮、冷蔵、冷凍  
ぶり(生・蔵・凍)は2008年から分類  
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



# さけ・ますの輸出額・輸出先国の推移

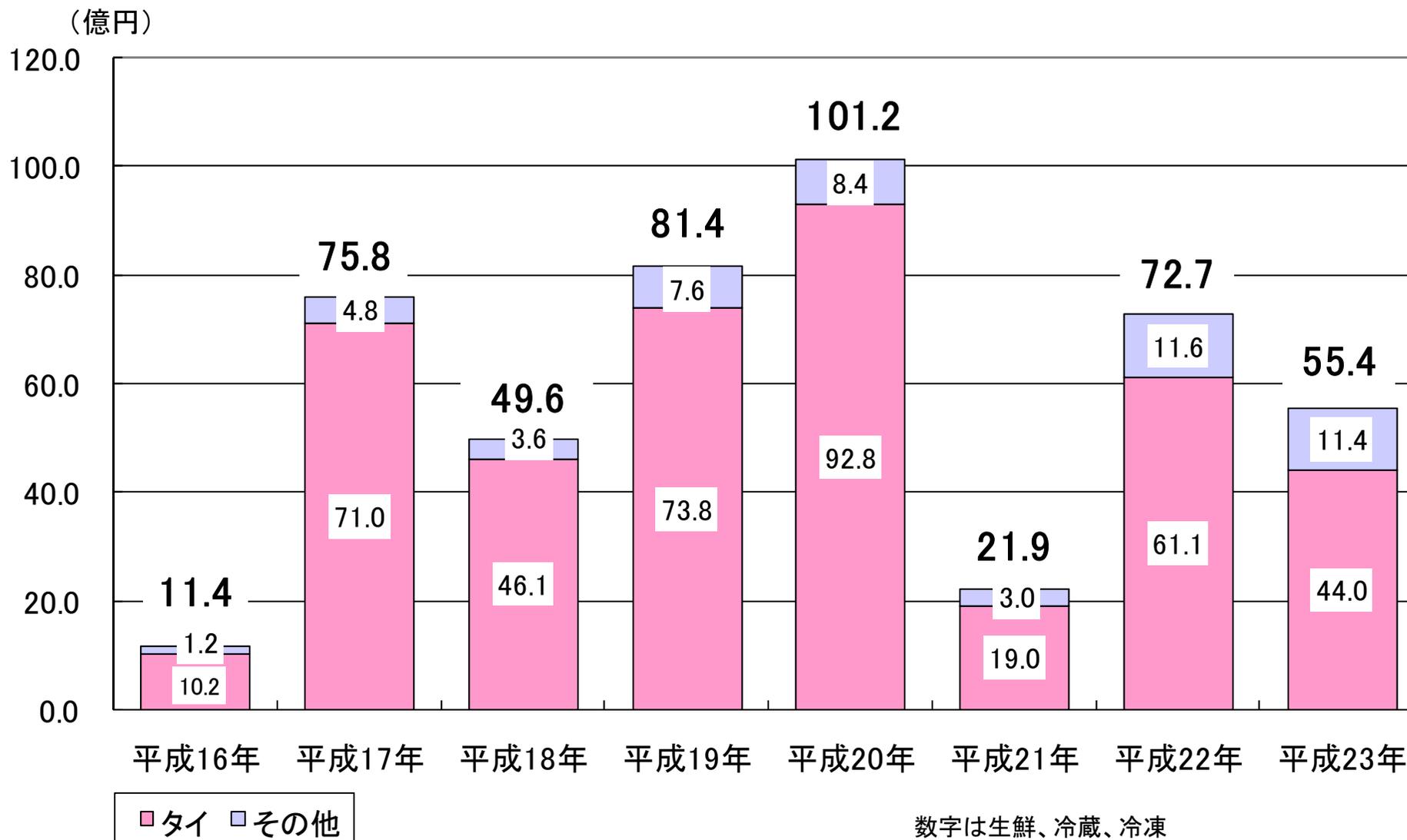
● さけ・ますは、我が国の主力輸出産品であるが、東日本大震災等の影響により、輸出額は大きく減少。





# かつお類の輸出額・輸出先国の推移

● 平成21年のかつお類の輸出額は、水揚量の減少やバンコク相場の急落により大幅に減少したが、その後、回復。



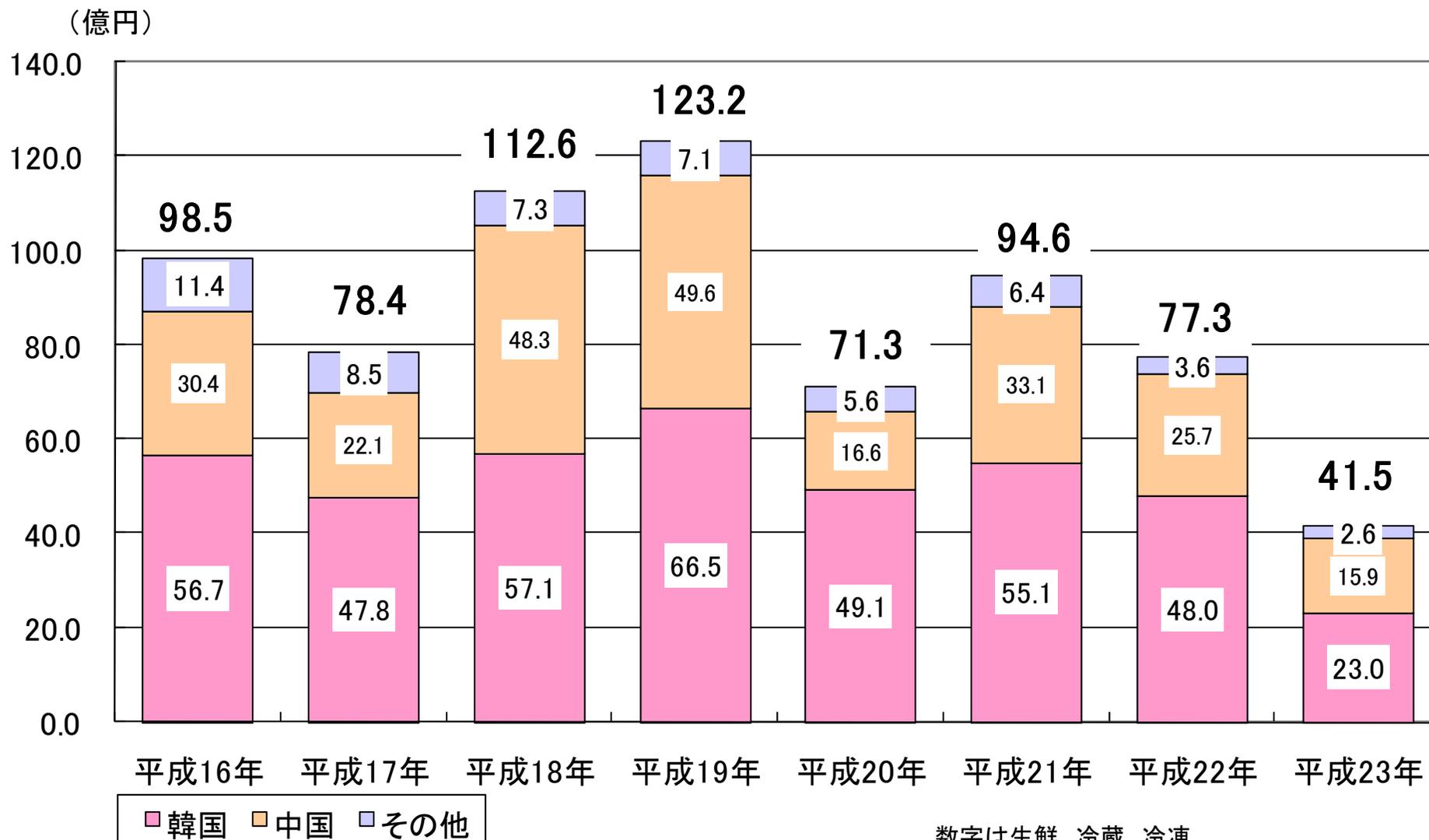
数字は生鮮、冷蔵、冷凍

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -35-



# すけとうだらの輸出額・輸出先国の推移

- すけとうだらの輸出額は、韓国、中国向けが多い。
- 東日本大震災等の影響により、輸出額が大きく減少。



数字は生鮮、冷蔵、冷凍

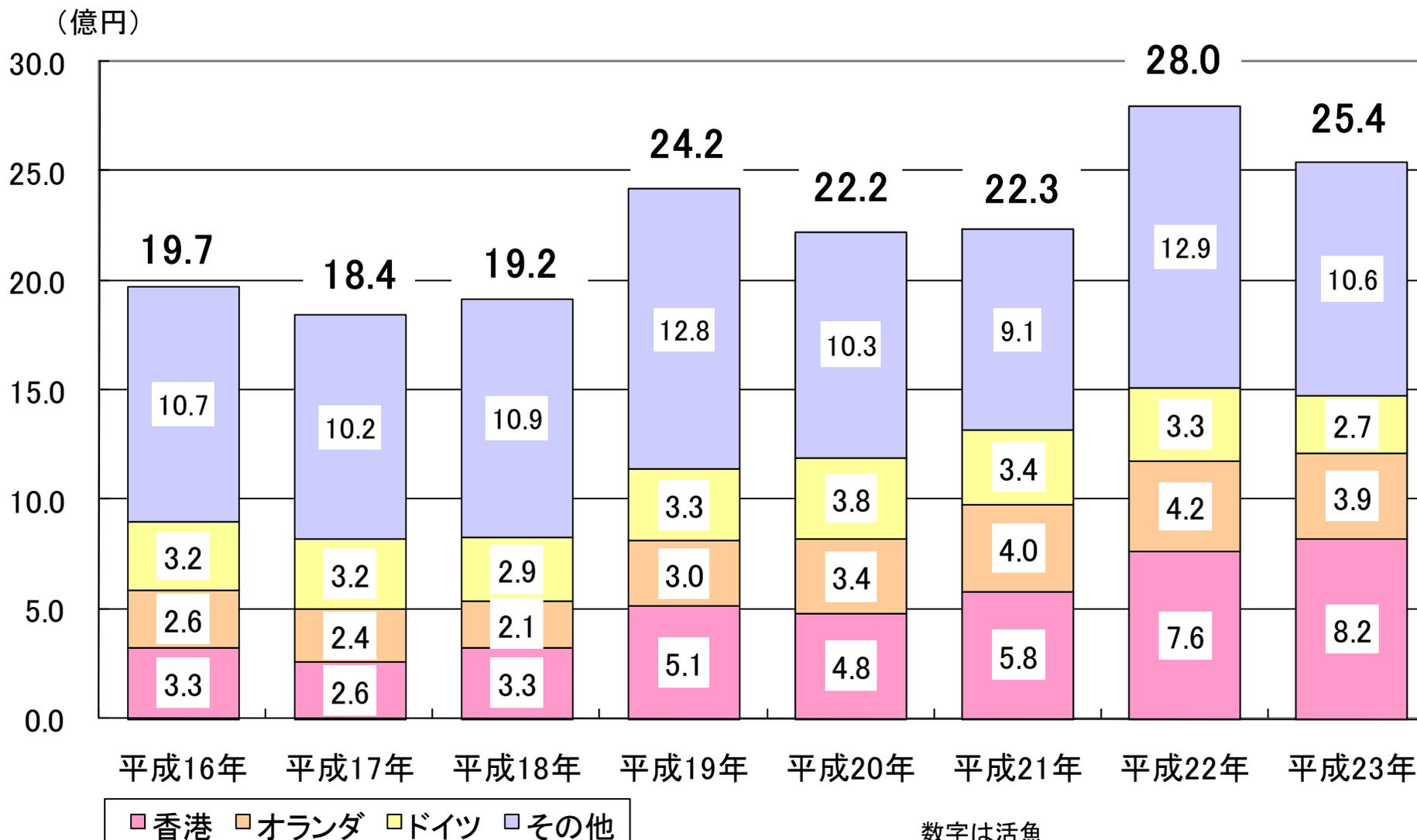
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -36-



# 錦鯉等観賞用魚の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 欧米やアジアの富裕層を中心に、錦鯉が人気で輸出額が増加傾向。
- 盆栽と並んで、日本文化の象徴として楽しまれている。



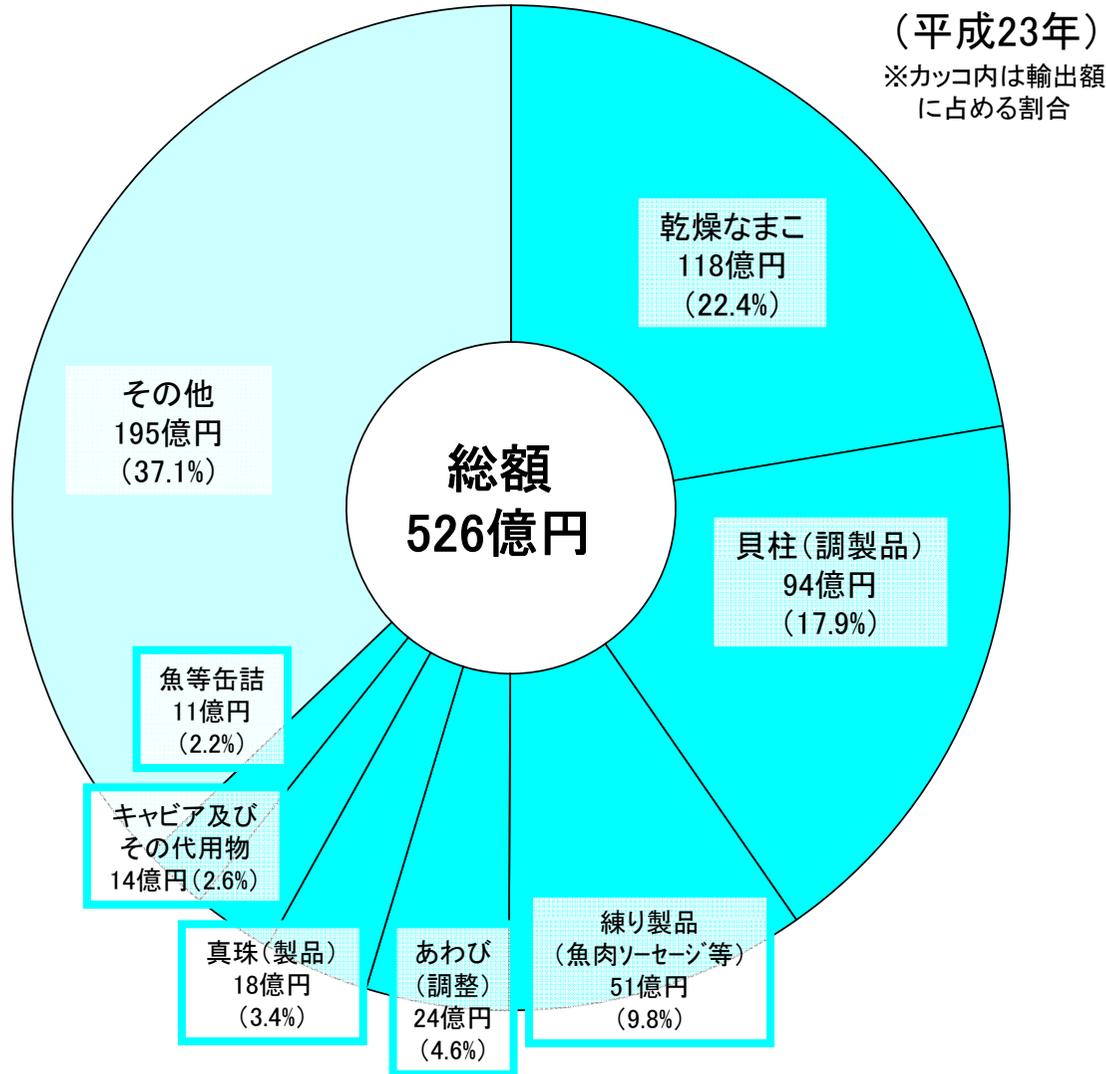
数字は活魚

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -37-



# 水産調製品の品目別内訳

●水産調製品の品目別内訳をみると、乾燥なまこ、貝柱、練り製品などの割合が多い。



(単位:億円)

品目名	平成22年	平成23年	増減率
乾燥なまこ(調製)	127.9	117.8	▲7.9%
貝柱(調製品)	123.8	94.3	▲23.9%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	56.1	51.4	▲8.3%
あわび(調製)	23.2	24.3	4.9%
真珠(製品)	15.6	18.0	16.0%
キャビア及びその代用物	14.1	13.7	▲2.7%
魚等缶詰	17.1	11.4	▲33.6%
かに調製品	8.0	6.9	▲12.9%
かたくちいわし(調製)	1.3	0.9	▲30.9%
その他	195.0	187.5	▲3.9%
水産調製品	582.1	526.3	▲9.6%

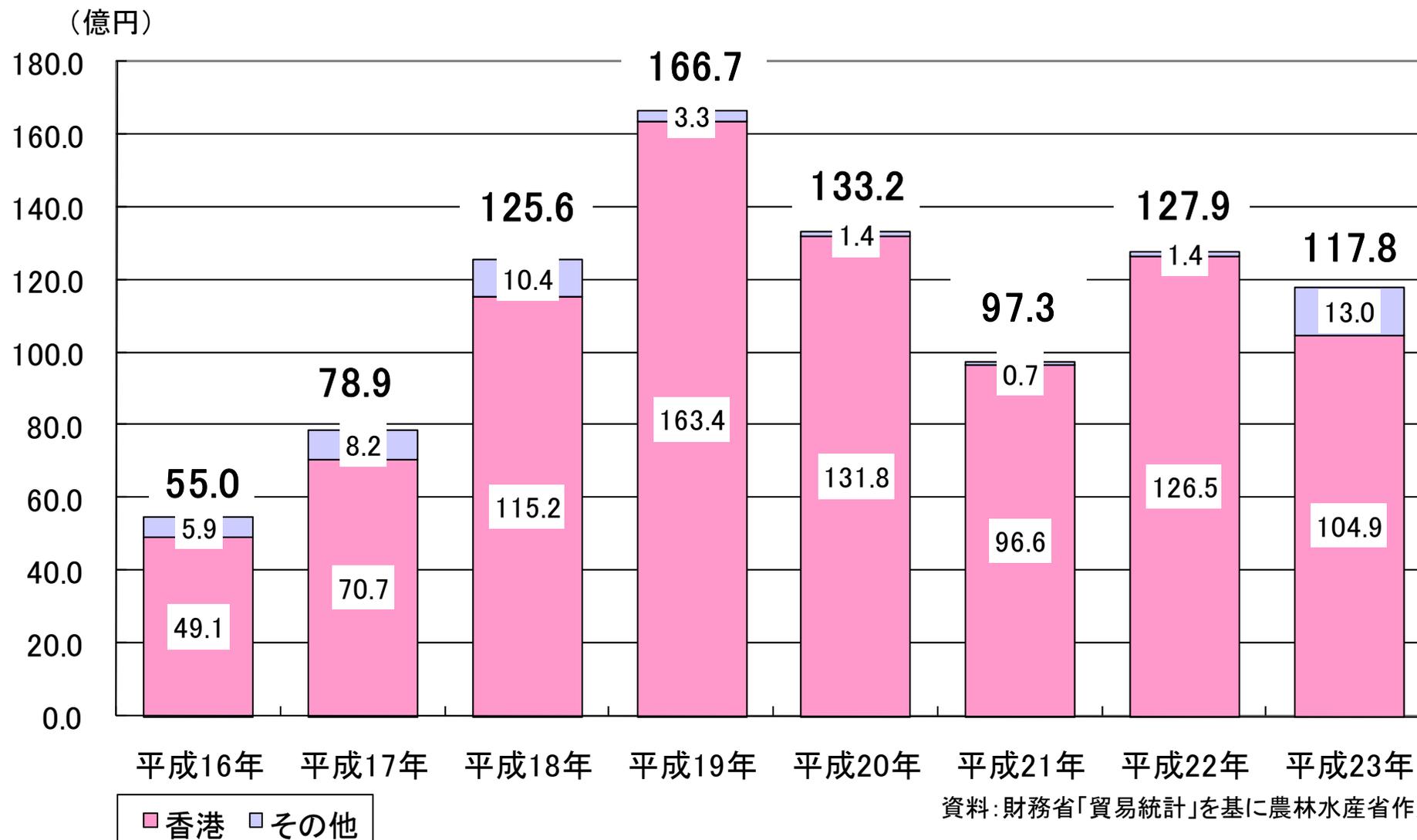
※ 乾燥なまこ、あわび・・・中華料理の高級食材として使用。  
キャビア及びその代用物・・・いくら、たらこなど



# 乾燥なまこの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 乾燥なまこは、我が国の主力輸出産品。
- 「黒いダイヤモンド」と称され、香港では高級中華料理の食材として人気。

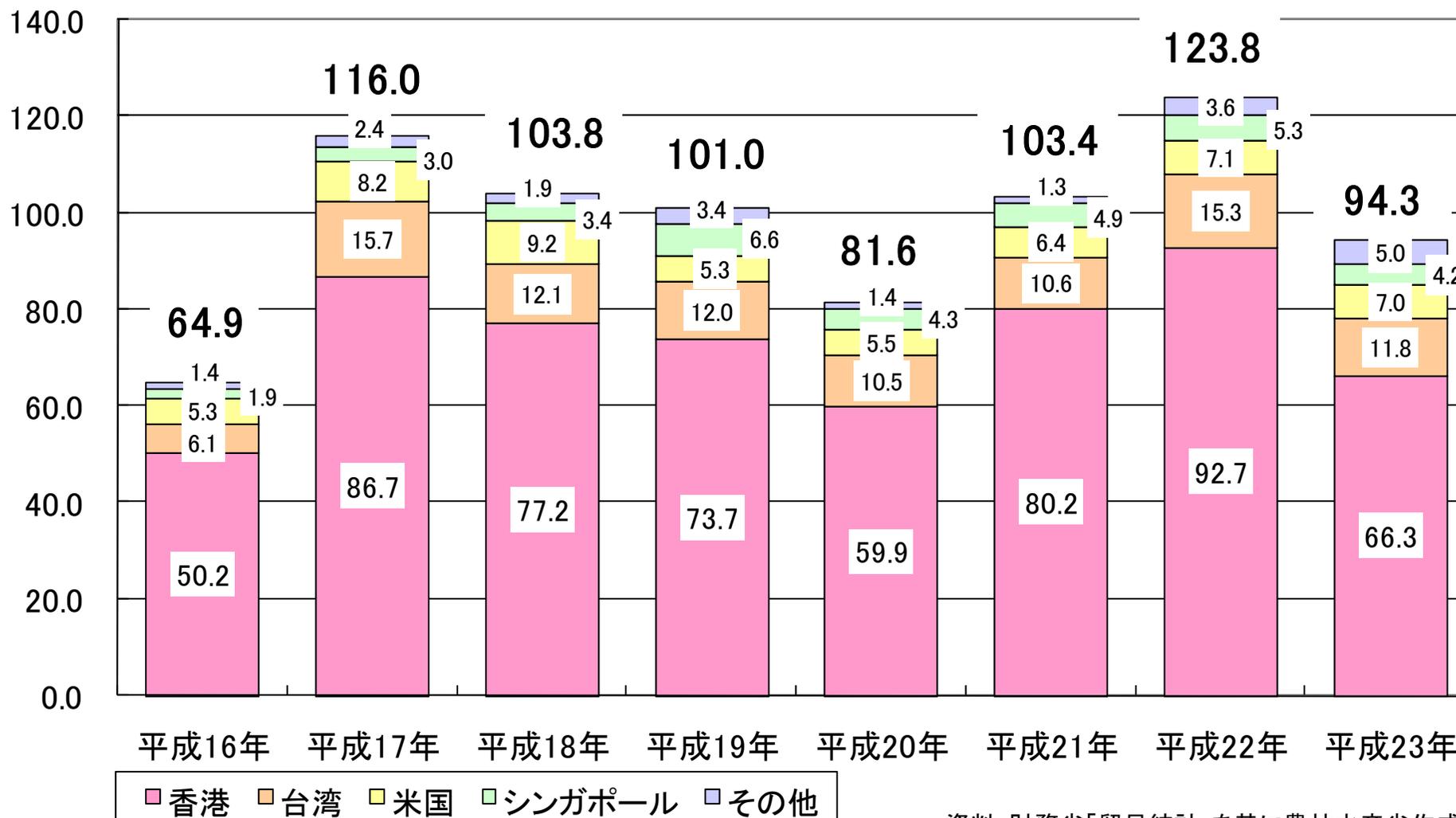




# 貝柱(調製品)の輸出額・輸出先国の推移

- 貝柱(調製品)は、我が国の主力輸出産品。
- ホタテ貝の干し貝柱が中心であるとみられ、香港において、中華料理の食材として使われている。

(億円)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



# あわび(調整)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- あわび(調整)は、香港において、高級中華料理の食材として人気。

